

# 上市町地域福祉計画

(第4期地域福祉計画)

(計画期間：令和4年度～令和8年度)

上市町



## はじめに



近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域でのつながりや相互にささえあう意識の希薄化等、地域社会を取り巻く環境が大きく変化しております。

また、孤立死、児童や高齢者等への虐待、自殺、ひきこもり、災害時における高齢者や障害者等の支援等、地域の福祉課題が多様化しています。

国において、「地域共生社会」という概念を打ち出し、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、だれもが安心して生活できる社会の実現を目指しています。

本町においても、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域住民や地域の多様な主体が地域の課題を「我が事」として捉えて参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながる地域社会を実現するため、「第4期上市町地域福祉計画」を策定いたしました。

地域を基盤として、社会福祉関係機関、行政等が住民の皆さんと一体となって地域の課題の解決に向けて取り組む所存ですので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご尽力をいただきました上市町地域福祉計画策定委員会の方々をはじめ、アンケート調査にご協力いただきました方々に心から感謝を申し上げます。

令和4年3月

上市町長 中川 行孝

# 目次

## 第1章 計画の趣旨等

---

- 1 計画の基本的な考え方 ..... 1
- 2 計画の位置づけ ..... 2
- 3 計画の期間 ..... 3
- 4 計画の策定体制 ..... 3

## 第2章 地域福祉の状況

---

- 1 人口・世帯の状況 ..... 5
  - 1-1 人口及び年齢別人口割合の推移 ..... 5
  - 1-2 人口動態 ..... 8
  - 1-3 世帯の状況 ..... 9
  - 1-4 外国人住民の状況 ..... 9
- 2 障害者（児）、高齢者、児童等の状況 ..... 10
  - 2-1 障害者（児）の状況 ..... 10
  - 2-2 高齢者の状況 ..... 13
  - 2-3 児童の状況 ..... 14
  - 2-4 ひとり親家庭の状況 ..... 15
  - 2-5 生活保護受給世帯の状況 ..... 15
- 3 地域の福祉活動の状況 ..... 16
  - 3-1 地域活動の状況 ..... 16
  - 3-2 相談の状況 ..... 18
  - 3-3 福祉関連施設の状況 ..... 19
- 4 地域福祉の課題 ..... 22

## 第3章 計画の基本理念と目標

---

- 1 計画の基本理念 ..... 23
- 2 計画の目標 ..... 24
- 3 施策の体系 ..... 25

## 第4章 施策の展開

---

- 1 とともにささえあう「ひとづくり」 ..... 27

1-1	地域福祉への関心を高め、福祉に関心を持つ人を増やします	27
1-2	福祉を学ぶ人を支援します	28
1-3	ボランティア活動に参加する人を育てます	29
2	安心して暮らせる「地域づくり」	30
2-1	だれでも利用できる相談支援体制を強化します	30
2-2	だれもが参加でき、安心して暮らせる地域づくりを進めます	31
2-3	地域でささえあう体制や仕組みをつくりま	32
3	安全・安心な「福祉の環境づくり」	34
3-1	避難行動要支援者を支援します	34
3-2	地域で安心して暮らせる環境をつくりま	35
3-3	安心してサービスを利用できる仕組みをつくりま	37
3-4	障害者や生活困窮者等への支援を充実しま	38
3-5	高齢者や障害者等の権利を守る支援を充実しま	39
3-6	犯罪をした人の生活を支援します	40

## 資料編

---

1	上市町地域福祉計画策定委員会委員名簿	41
2	地域福祉に関するアンケート調査結果	42



## 第1章



# 計画の趣旨等

---



# 1

## 第1章 計画の趣旨等

# 計画の基本的な考え方

- 近年、少子高齢化や核家族化の進行、人々のライフスタイルの変化等を背景に、住民相互の社会的なつながりが希薄化し、地域社会でささえあう力が弱くなっています。また、孤立死、虐待、認知症高齢者の増加、自殺、ひきこもり、消費者被害、地域における見守りが必要な人の増加等、地域の福祉課題が多様化しています。
- このような多岐にわたる地域の課題を解決していくためには、『自助』（地域で生活する住民一人ひとりが努力すべきこと）、『互助・共助』（地域で生活する人々が協力して行う日常的な生活支援活動）と『公助』（行政が行う公的福祉サービスの提供）が相互に連携し、すべての人がともにささえあい、助け合い、安心して暮らせる地域社会の実現を目指すことが必要となります。
- そこで、本町では、平成29年度から平成33年度（令和3年度）までの5年間の期間とする「第3期上市町地域福祉計画」を中心に、地域福祉の推進に資する施策を進めてきました。
- 国は、「地域共生社会」という概念を打ち出し、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、だれもが安心して生活できる社会の実現を目指しています。本町においても、地域住民や地域の多様な主体が地域の課題を『我が事』として捉えて参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながる地域社会を目指していく必要があります。
- また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、ボランティアや民生委員・児童委員の活動等の地域活動の停滞を余儀なくされている状況が続いています。感染対策を講じながら、地域に必要な取組を継続していくための支援について、コロナ後の新しい生活様式を見据えて検討していく必要があります。

# 2

## 第1章 計画の趣旨等

# 計画の位置づけ

- 「地域福祉計画」は、地域の課題解決に向けて、行政や各種団体、住民等が活動するときの方向性や基本的な考えを示したものです。行政が策定する地域福祉推進のための基本計画であり、地域の力によって課題を解決していく視点を重視しています。
- 社会福祉法第107条に基づく計画です。

### 【社会福祉法】

**第107条** 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

- (1) 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項
  - (2) 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
  - (3) 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
  - (4) 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
  - (5) 地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に関する事項
- 2 市町村は、市町村地域福祉計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、地域住民等の意見を反映させるよう努めるとともに、その内容を公表するよう努めるものとする。
- 3 市町村は、定期的に、その策定した市町村地域福祉計画について、調査、分析及び評価を行うよう努めるとともに、必要があると認めるときは、当該市町村地域福祉計画を変更するものとする。

# 3

第1章 計画の趣旨等

## 計画の期間

- 本計画は、令和4年度から令和8年度までの5か年計画です。
- 社会情勢や制度改正等の変化に柔軟に対応することができるよう、進捗状況の評価を行い、必要に応じて活動内容の見直しを図るものとします。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
 第4期上市町地域福祉計画				

# 4

第1章 計画の趣旨等

## 計画の策定体制

- 本計画は、「上市町地域福祉計画策定委員会」を中心に策定しました。また、本計画の策定にあたっては、満18歳以上の住民を対象とする「地域福祉に関するアンケート調査」を実施し、住民の意見やニーズ、地域福祉への意識の実態等を把握しています。



## 第2章



# 地域福祉の状況

---



# 1

## 第2章 地域福祉の状況

# 人口・世帯の状況

### 1-1 人口及び年齢別人口割合の推移

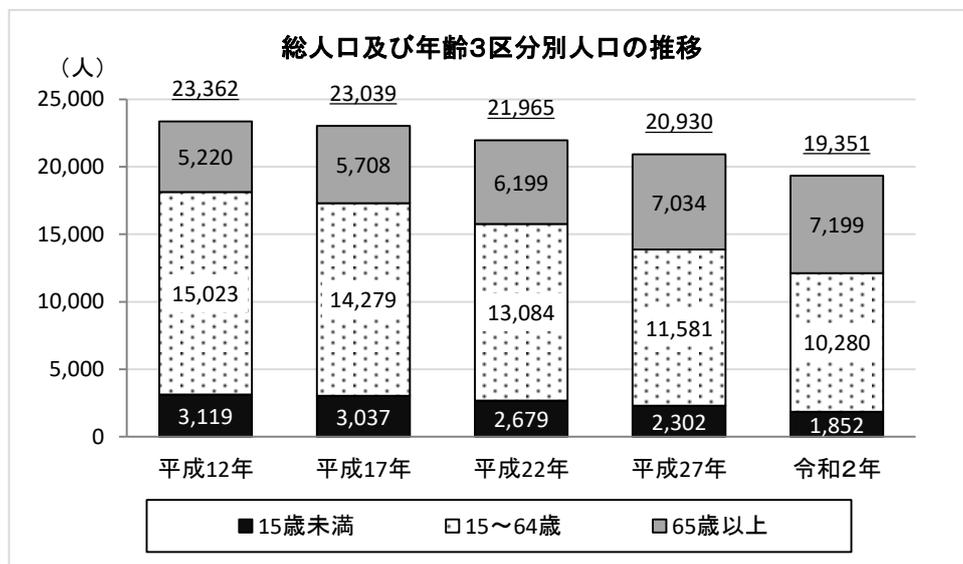
- 令和2年10月1日現在の本町の人口は19,351人で、平成12年以降の推移をみると、減少傾向にあります。
- 年齢3区分別人口の推移をみると、高齢者人口（65歳以上）が増加し続けており、令和2年では7,199人となっています。一方、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15～64歳）は、いずれも減少傾向にあります。

人口及び年齢別人口割合の推移

(単位：人)

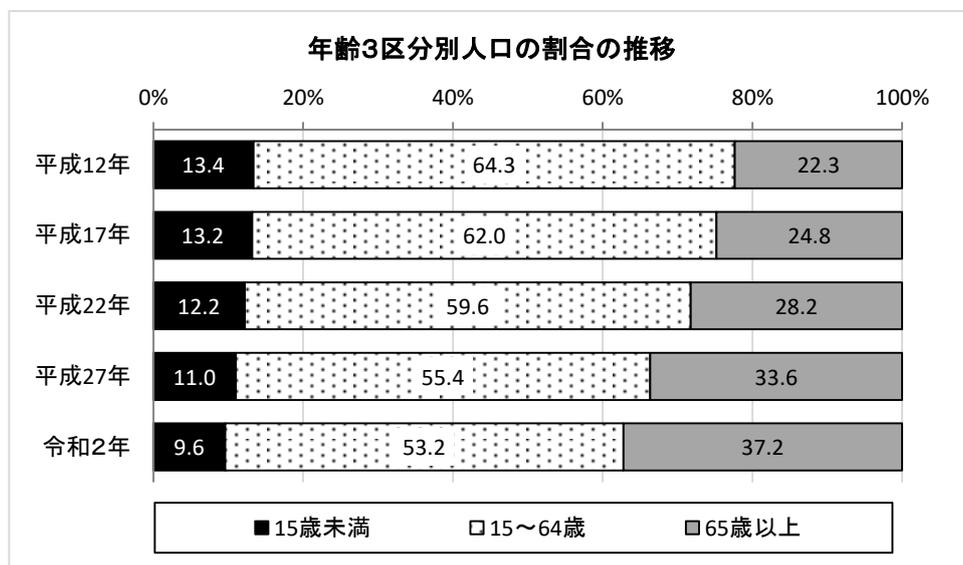
区分	平成12年 (2000年)		平成17年 (2005年)		平成22年 (2010年)		平成27年 (2015年)		令和2年 (2020年)	
15歳未満	3,119	13.4%	3,037	13.2%	2,679	12.2%	2,302	11.0%	1,852	9.6%
15～64歳	15,023	64.3%	14,279	62.0%	13,084	59.6%	11,581	55.4%	10,280	53.2%
65歳以上	5,220	22.3%	5,708	24.8%	6,199	28.2%	7,034	33.6%	7,199	37.2%
65～74歳	2,885	12.3%	2,865	12.4%	3,032	13.8%	3,627	17.3%	3,414	17.7%
75歳以上	2,335	10.0%	2,843	12.3%	3,167	14.4%	3,407	16.3%	3,785	19.6%
合計	23,362		23,039*		21,965*		20,930*		19,351*	

※ 平成17年以降の合計は年齢不詳者数をそれぞれ含みます。



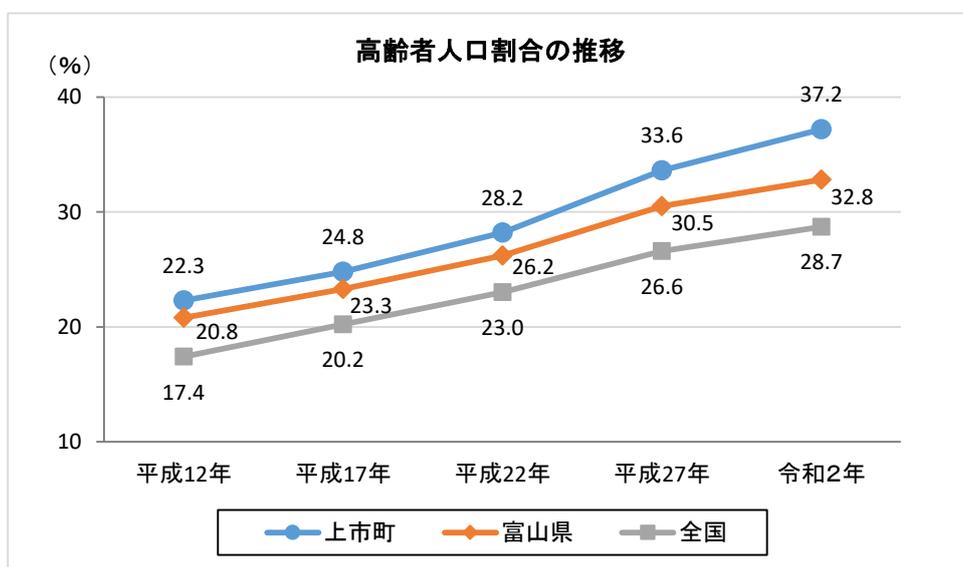
出典) 国勢調査

- 年齢3区分別人口の割合の推移をみると、高齢者人口（65歳以上）の割合が上昇し続けており、令和2年では37.2%となっています。一方、年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15～64歳）の割合は、いずれも低下傾向にあります。



出典) 国勢調査

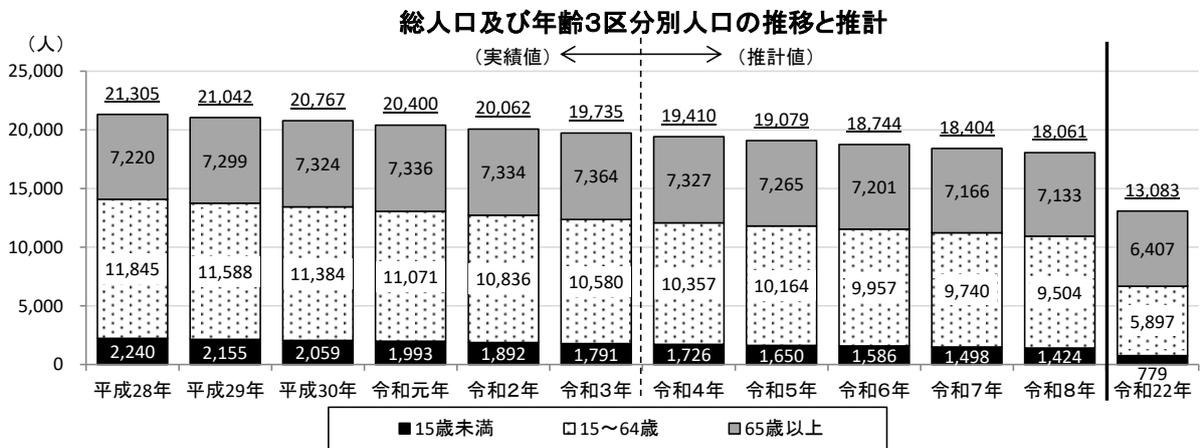
- 高齢者人口割合の推移を県・国と比較すると、本町の割合は県平均・全国平均より高い水準で推移しています。



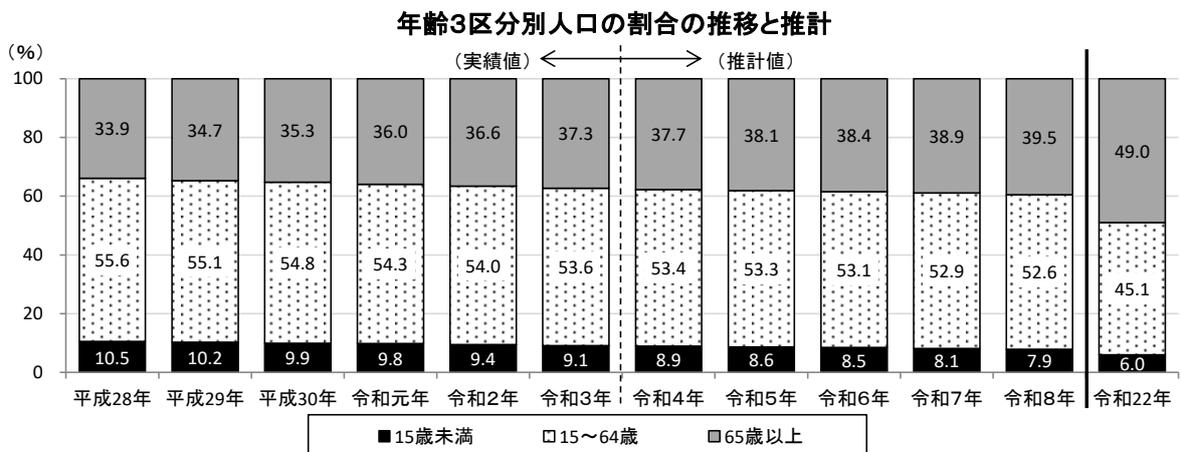
出典) 国勢調査

<人口及び年齢別人口割合の推計>

- 本町の住民基本台帳人口をもとに、コーホート要因法を用いて将来人口を推計したところ、令和4年以降も人口は減少し続けることが見込まれ、令和8年には18,061人、令和22年には13,083人になると見込まれます。
- 年齢3区分別人口の割合の推計をみると、高齢者人口の割合は引き続き上昇し続けることが見込まれ、令和8年には39.5%、令和22年には49.0%になると見込まれます。一方、年少人口及び生産年齢人口の割合はいずれも引き続き低下し続けると見込まれ、令和22年には高齢者人口の割合（49.0%）が生産年齢人口の割合（45.1%）を上回っていると見込まれます。



出典) 実績値 (平成28年～令和3年) : 住民基本台帳 (各年10月1日現在)  
 推計値 (令和4年～令和8年、令和22年) : コーホート要因法による推計値

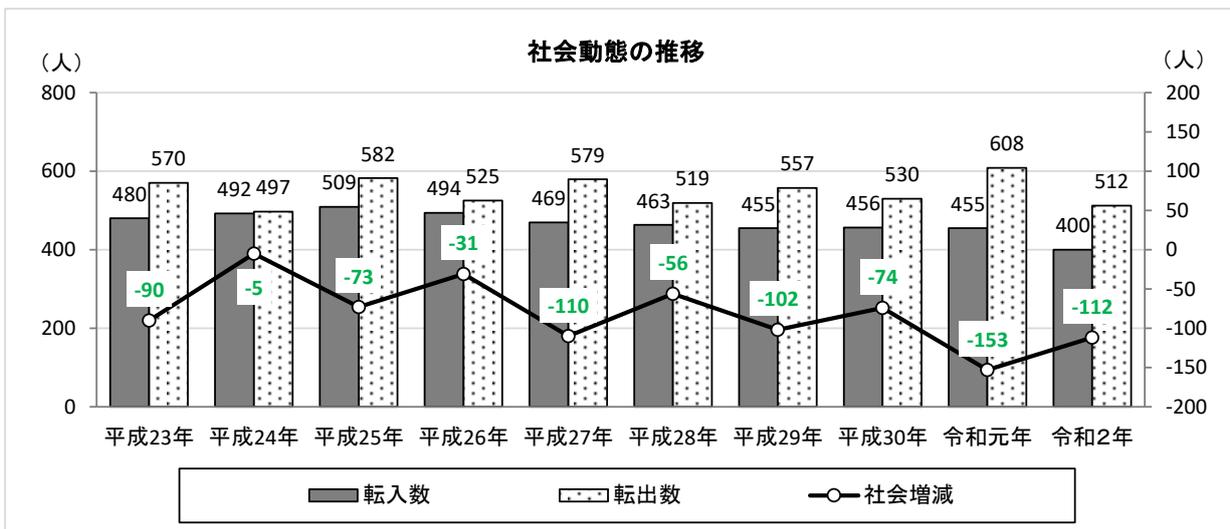
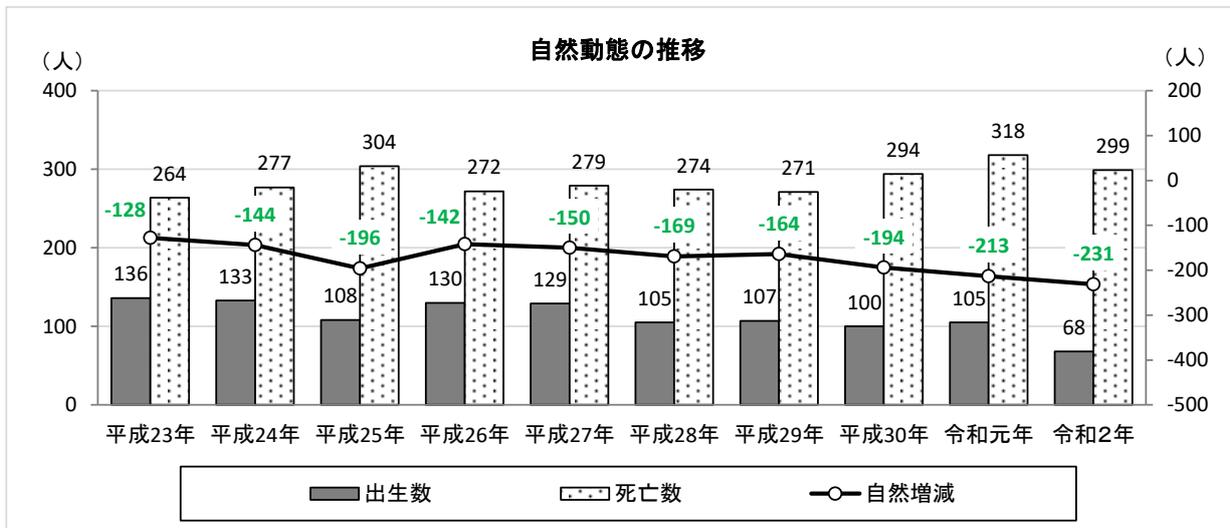


出典) 実績値 (平成28年～令和3年) : 住民基本台帳 (各年10月1日現在)  
 推計値 (令和4年～令和8年、令和22年) : コーホート要因法による推計値

※ 割合は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が100.0%にならないことがあります。

## 1-2 人口動態

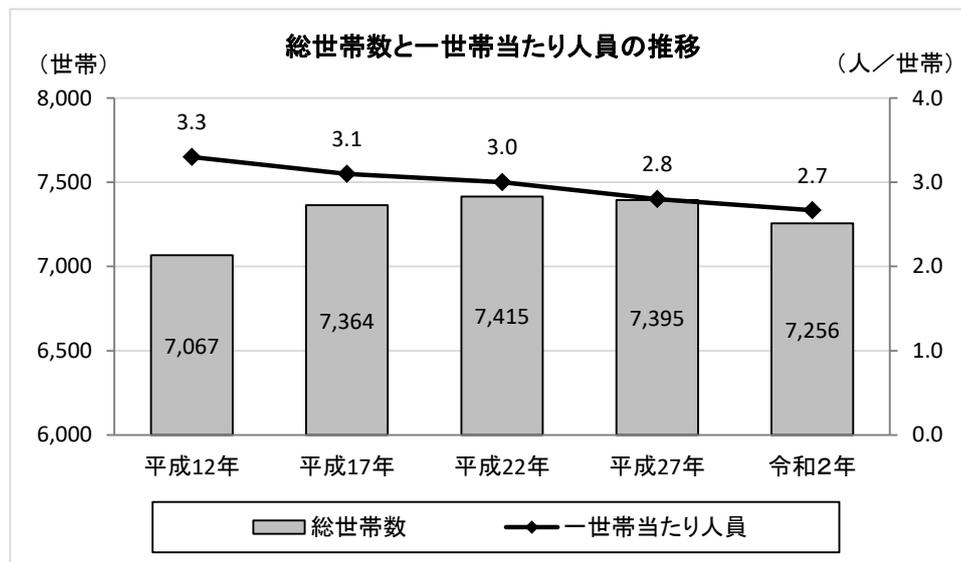
- 本町の人口の自然動態の推移をみると、過去 10 年間は死亡数が出生数を上回っている状態が続いており、令和 2 年は 231 人の自然減となっています。出生数が概ね減少傾向にあります。
- また、社会動態の推移をみると、過去 10 年間は転出数が転入数を上回っている状態が続いており、令和 2 年は 112 人の社会減となっています。転入数が概ね減少傾向にあります。



出典) 富山県人口移動調査 (各年、前年 10 月 1 日～当年 9 月 30 日)

## 1-3 世帯の状況

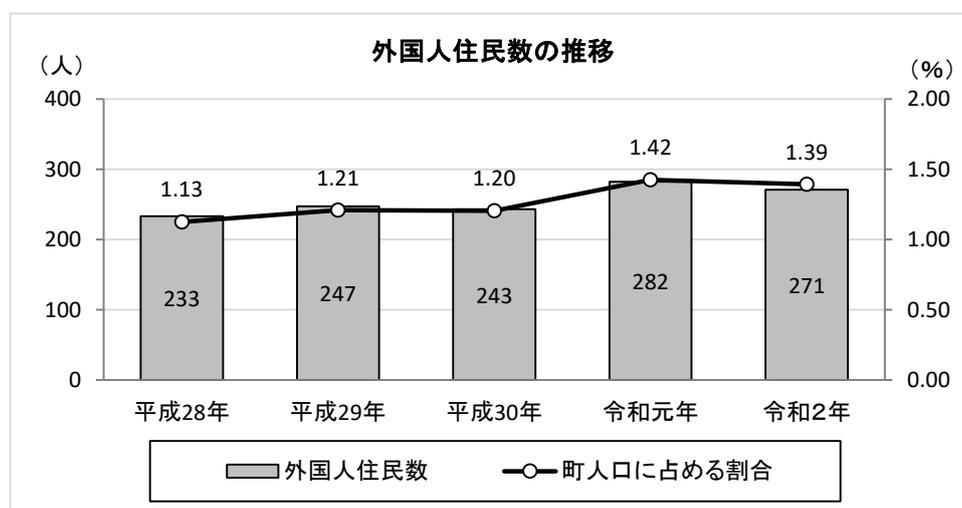
- 総世帯数の推移をみると、平成22年までは増加していましたが、平成22年以降は減少しており、令和2年の総世帯数は7,256世帯となっています。
- 一般世帯の一世帯あたり人員は減少傾向にあり、令和2年では2.7人となっています。



出典) 国勢調査

## 1-4 外国人住民の状況

- 本町の外国人住民数は概ね増加傾向にあり、令和2年では271人となっています。町人口に占める外国人住民数の割合も概ね上昇傾向にあり、令和2年では1.39%となっています。



出典) 外国人住民数：在留外国人統計（法務省）（各年6月末現在）  
町人口：富山県人口移動調査（各年10月1日現在）

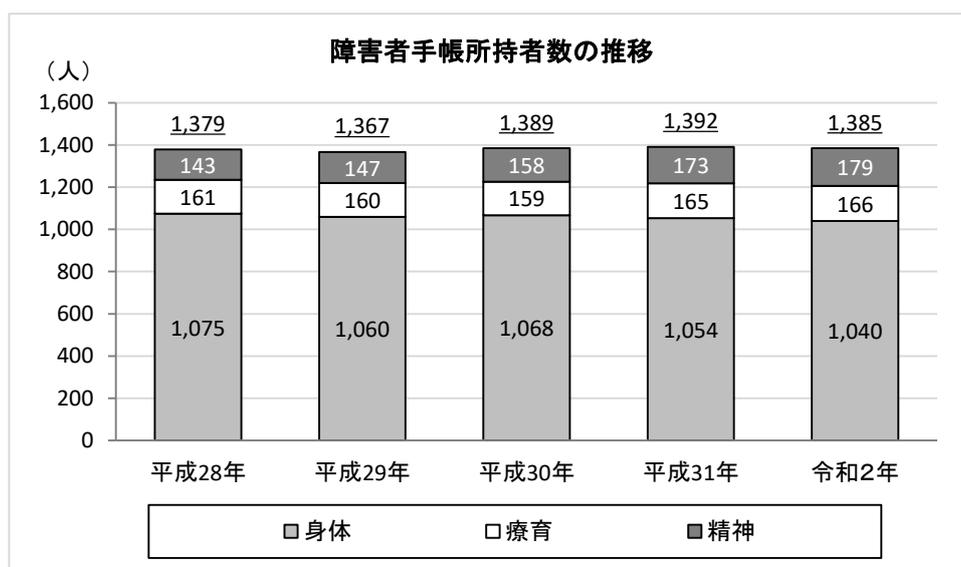
# 2

## 第2章 地域福祉の状況

# 障害者（児）、高齢者、児童等の状況

### 2-1 障害者（児）の状況

- 本町の障害者手帳所持者数（身体障害者手帳所持者数、療育手帳所持者数、精神障害者保健福祉手帳所持者数の合計）は平成28年以降横ばいで推移しており、令和2年では1,385人となっています。
- 手帳の種類別で見ると、身体障害者手帳所持者数は概ね減少傾向にあります。一方、療育手帳所持者数、精神障害者保健福祉手帳所持者数はともに増加傾向にあります。



出典) 町福祉課（各年4月1日現在）

※ 合計人数は重複所持者を計上

- 身体障害者手帳所持者数の推移を等級別で見ると、1級・2級の重度の障害者数が合計約4割を占めている状態が続いています。

#### 等級別身体障害者手帳所持者数の推移

(単位：人)

区分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
1 級	290	300	304	305	303
2 級	124	124	121	116	119
3 級	323	302	302	288	277
4 級	230	230	244	249	238
5 級	44	43	42	40	38
6 級	64	61	57	58	65
合計	1,075	1,060	1,070	1,056	1,040

出典) 町福祉課 (各年 4 月 1 日現在)

- また、身体障害の部位別で見ると、肢体不自由及び内部の割合がそれぞれ4割以上を占めている状態が続いています。

#### 部位別身体障害者手帳所持者数の推移

(単位：人)

区分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
視覚	42	43	40	38	40
聴覚・平衡感覚	79	76	74	80	83
音声・言語・咀嚼	5	5	4	4	4
肢体不自由	497	481	473	455	447
内部	452	455	479	479	466
合計	1,075	1,060	1,070	1,056	1,040

出典) 町福祉課 (各年 4 月 1 日現在)

- 療育手帳所持者数の推移を等級別で見ると、重度（A判定）は横ばいで推移しています。また、年齢区分別で見ると、18歳以上が増加傾向にあります。

#### 等級別療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

区分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
重度（A判定）	84	81	85	82	85
中軽度（B判定）	77	79	74	83	81
合計	161	160	159	165	166

出典) 町福祉課（各年4月1日現在）

#### 年齢区分別療育手帳所持者数の推移

(単位：人)

区分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
18歳未満	29	27	21	24	21
18歳以上	132	133	138	141	145
合計	161	160	159	165	166

出典) 町福祉課（各年4月1日現在）

- 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移を等級別で見ると、2級の障害者数が6割以上を占めている状態が続いています。

#### 等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

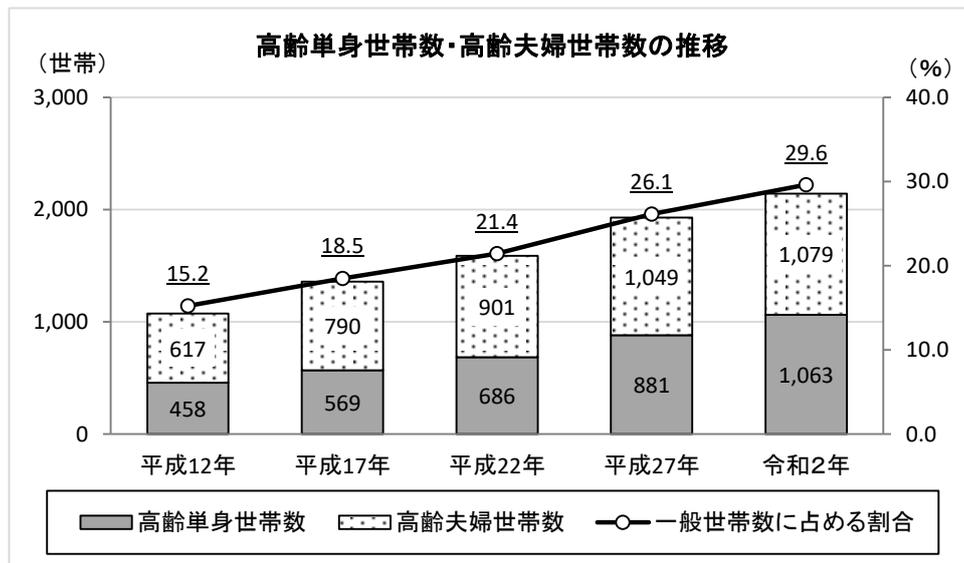
(単位：人)

区分	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
1級	15	14	15	18	23
2級	94	99	101	115	111
3級	34	34	42	40	45
合計	143	147	158	173	179

出典) 町福祉課（各年4月1日現在）

## 2-2 高齢者の状況

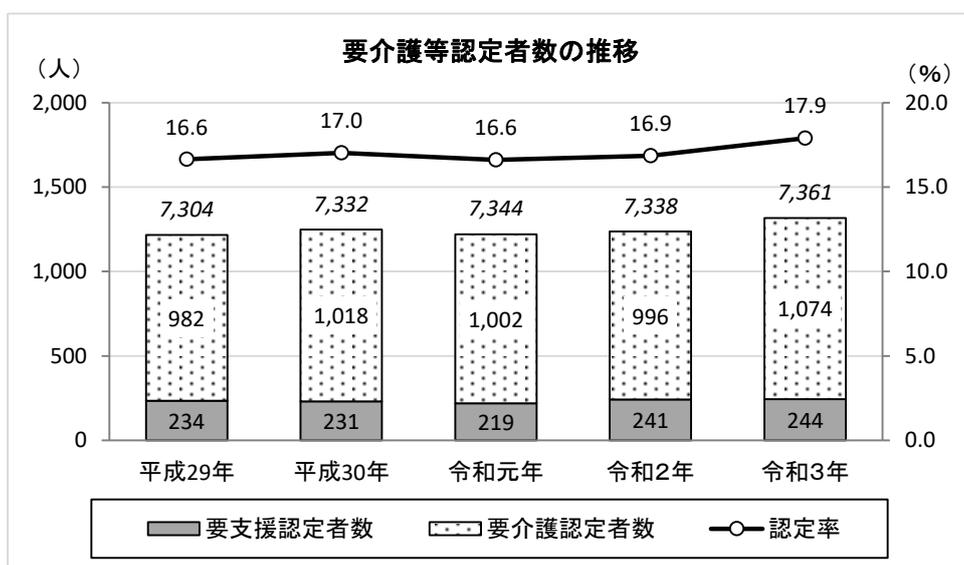
- 高齢単身世帯数及び高齢夫婦のみの世帯数の推移をみると、いずれも増加傾向にあります。高齢者のみの世帯が一般世帯数に占める割合も上昇傾向にあり、令和2年では29.6%となっています。



出典) 国勢調査

※ 高齡夫婦世帯は夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯

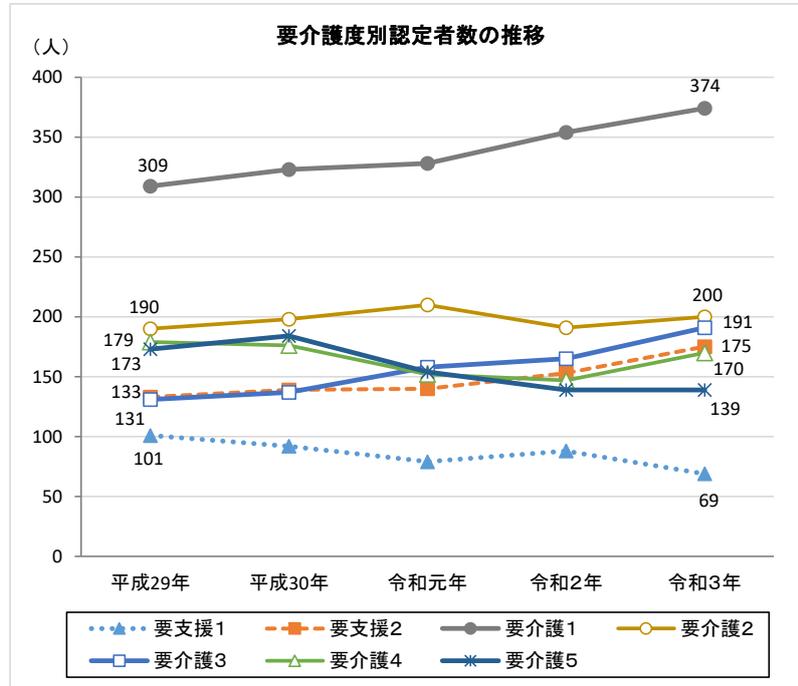
- 要介護等認定者数の推移をみると、要支援認定者数（要支援1・要支援2）、要介護認定者数（要介護1～要介護5）はともに概ね増加傾向にあります。
- 認定率（第1号被保険者に占める認定者数の割合）も概ね上昇傾向にあり、令和3年では17.9%となっています。



出典) 「介護保険事業状況報告」月報（各年9月末現在）

※ 縦棒グラフの上の斜体の数値は第1号被保険者数

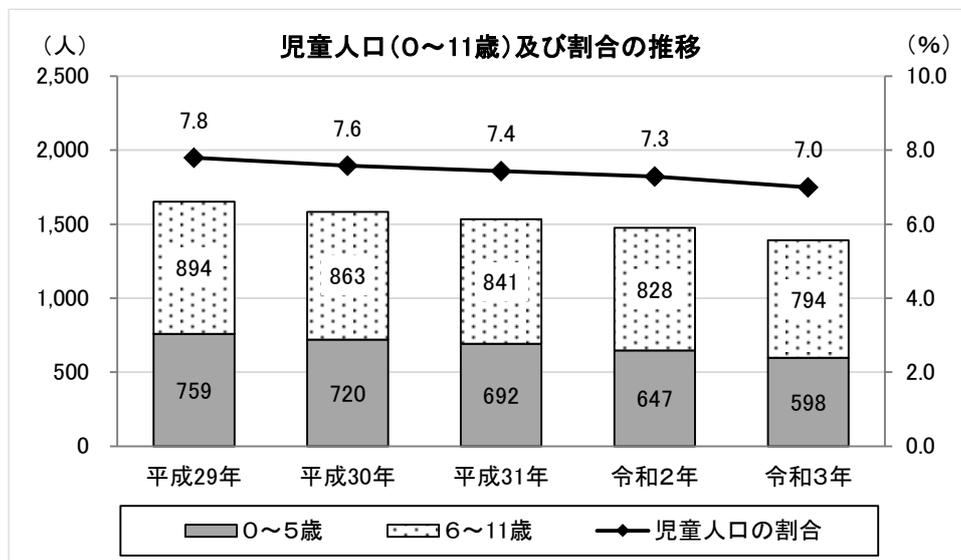
- 認定者数の推移を要介護度別で見ると、要支援2・要介護1・要介護3が大きく増加し、要支援1と要介護5が大きく減少しています。また、令和2年から令和3年にかけては、要支援2・要介護1・要介護3・要介護4がそれぞれ20人以上増加しています。



出典) 「介護保険事業状況報告」月報(各年9月末現在)

## 2-3 児童の状況

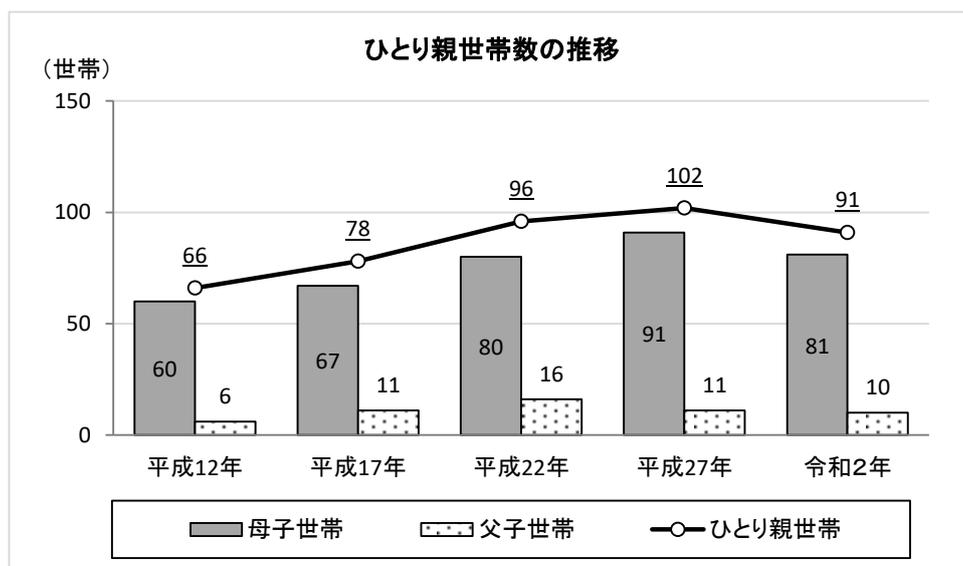
- 本町の児童人口(0~11歳)の推移をみると、0~5歳児、6~11歳児のいずれも減少傾向にあります。また、総人口に占める児童人口の割合も低下傾向にあり、令和3年では7.0%となっています。



出典) 住民基本台帳(各年4月1日現在)

## 2-4 ひとり親家庭の状況

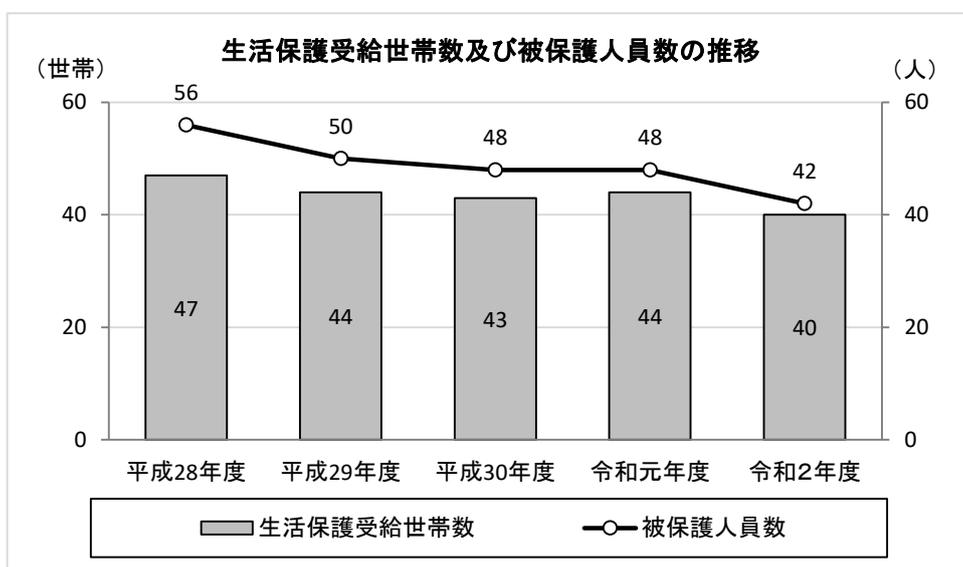
- 本町のひとり親世帯数（母子世帯数と父子世帯数の合計）の推移をみると、平成12年から平成27年まで増加傾向にありましたが、平成27年から令和2年にかけては減少し、令和2年では合計91世帯となっています。
- 親の性別でみると、母子世帯は平成27年以降、父子世帯は平成22年以降、それぞれ減少しています。



出典) 国勢調査

## 2-5 生活保護受給世帯の状況

- 本町の生活保護受給世帯数及び被保護人員数の推移をみると、いずれも平成28年度以降は概ね減少傾向にあり、令和2年度では40世帯・42人となっています。



出典) 町福祉課（各年度、月平均）

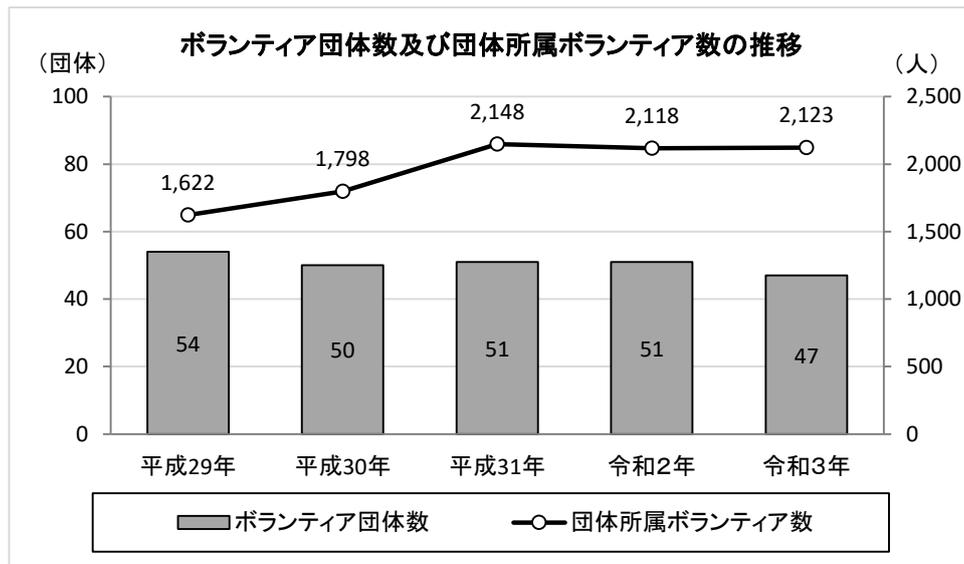
# 3

## 第2章 地域福祉の状況

# 地域の福祉活動の状況

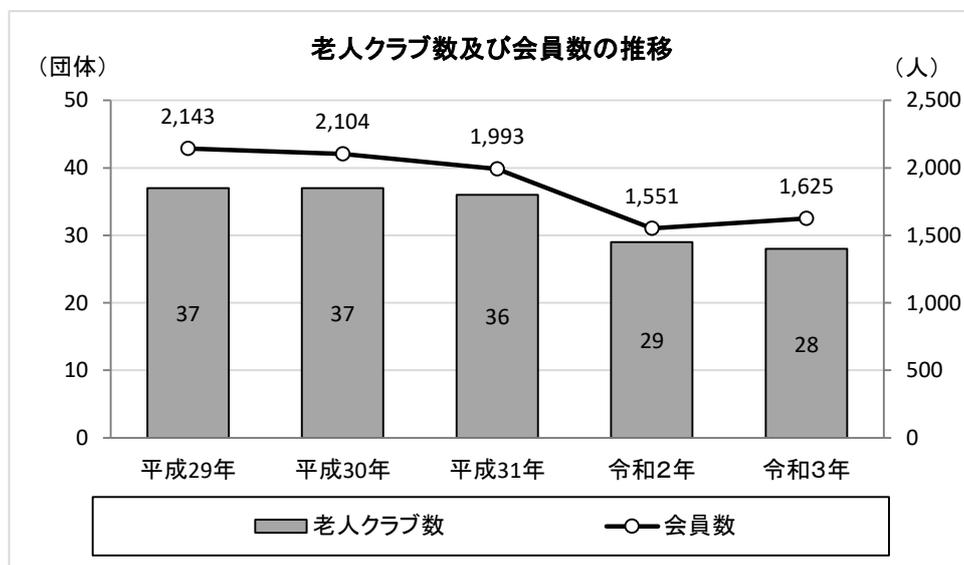
### 3-1 地域活動の状況

- 町社会福祉協議会へのボランティア登録状況の推移をみると、ボランティア団体数はやや減少傾向にありますが、団体所属ボランティア数は概ね増加傾向にあり、1団体あたりの人数は平成29年の30.0人から令和3年の45.2人へと大きく増加しています。一方、個人ボランティア数は、平成29年及び令和3年に各2人となっており、その他の年では0人となっています。
- また、民生委員・児童委員は定数56人、うち主任児童委員は定数3人で推移しています（平成29年以降令和3年まで、各年4月1日現在）。



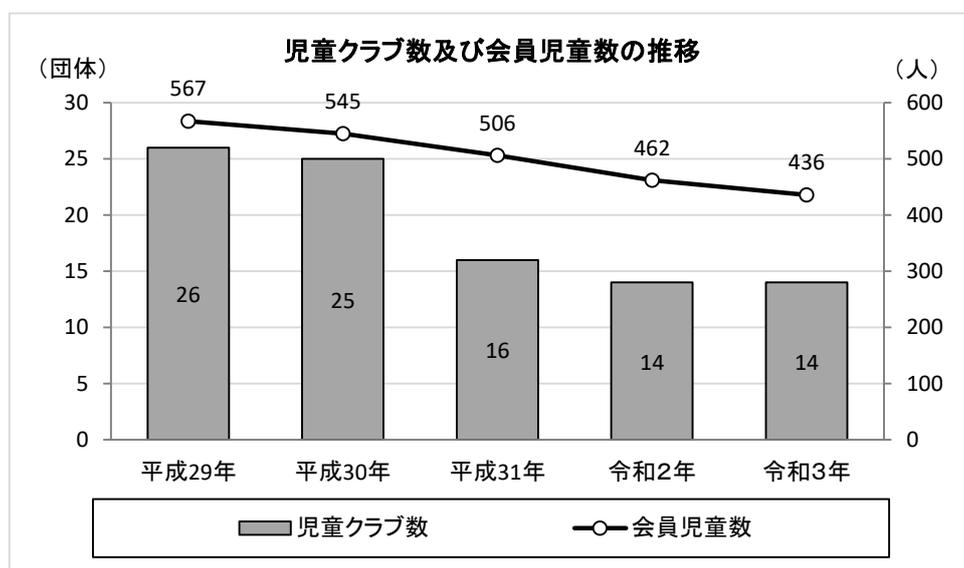
出典) 町社会福祉協議会 (各年4月1日現在)

- 本町の老人クラブ数及び会員数の推移をみると、いずれも平成 31 年から令和 2 年にかけて大きく減少しており、令和 3 年では 28 団体、1,625 人となっています。



出典) 町福祉課 (各年 4 月 1 日現在)

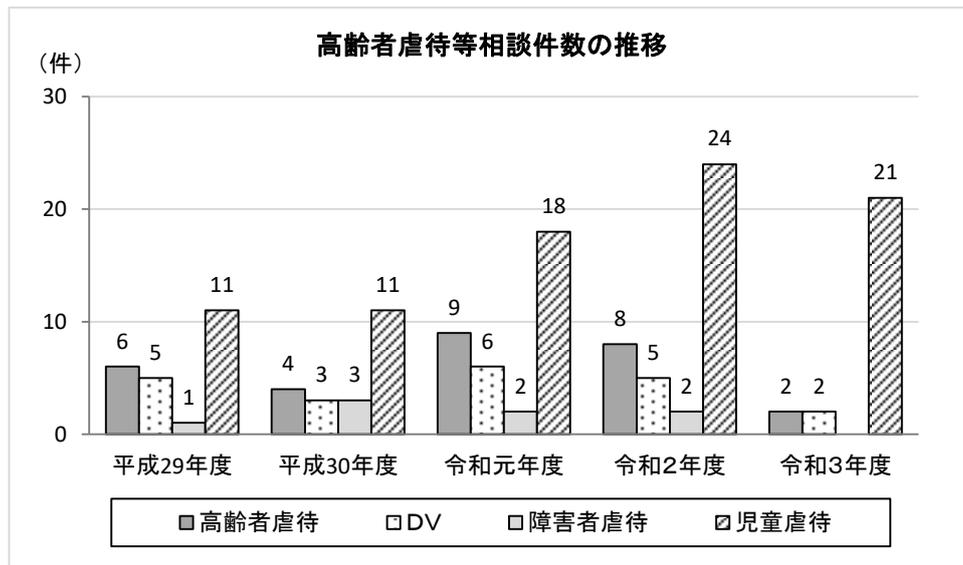
- 本町の児童クラブ数及び会員児童数の推移をみると、いずれも減少傾向にあり、令和 3 年では 14 団体、436 人となっています。



出典) 町福祉課 (各年 4 月 1 日現在)

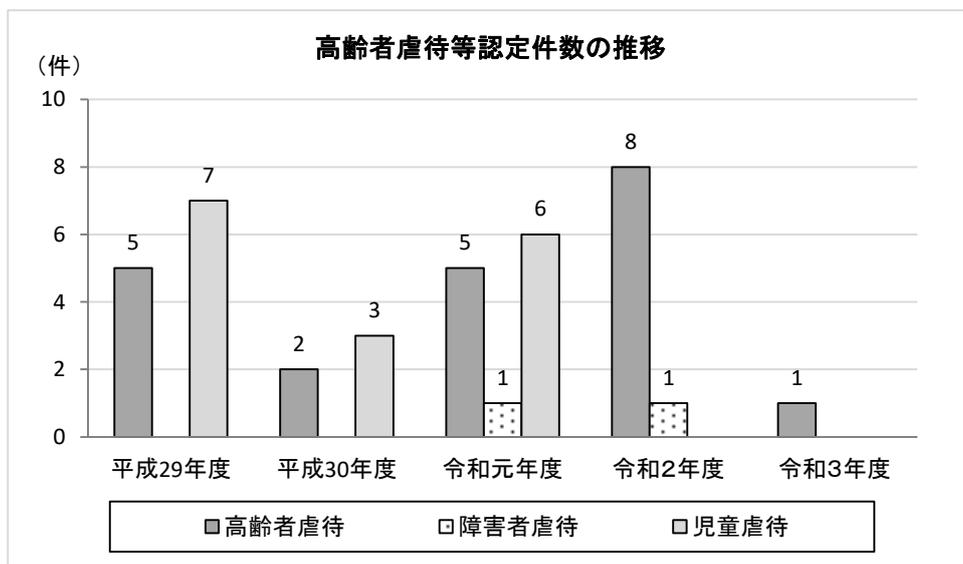
## 3-2 相談の状況

- 高齢者虐待やDV等の虐待に関する相談件数の推移をみると、児童虐待に関する相談件数が多く、平成30年度（11件）から令和2年度（24件）にかけて大きく増加しています。



出典) 町福祉課、町教育委員会事務局  
(各年度末現在、令和3年度のみ当年9月末現在)

- 一方、高齢者虐待等の認定件数の推移をみると、高齢者虐待の件数は平成30年度（2件）から令和2年度（8件）にかけて大きく増加していますが、児童虐待の件数は令和2年度で0件となっており、DVの件数も平成29年度以降は0件となっています。



出典) 町福祉課、福祉行政報告例（市町村児童相談分）、町教育委員会事務局  
(各年度末現在、令和3年度のみ当年9月末現在)

### 3-3 福祉関連施設の状況

- 本町における福祉を支える福祉関連施設（事業所）は、次のとおりです。  
(令和3年12月1日現在)

#### 福祉関連

区分	事業所・施設名	所在地	設置者
社会福祉協議会	上市町社会福祉協議会	湯上野 1176	(福)上市町社会福祉協議会
保健福祉センター	上市町保健福祉総合センター	湯上野 1176	上市町
厚生センター	富山県中部厚生センター	横法音寺 40	富山県

#### 保育所・学校関連

区分	事業所・施設名	所在地	設置者
高等学校	上市高等学校	齊ノ神新 444	富山県
中学校	上市中学校	稗田 1	上市町
小学校	上市中央小学校	横法音寺 1	上市町
	南加積小学校	広野 768	
	宮川小学校	中江上 2	
	相ノ木小学校	上荒又 68	
	陽南小学校	柿沢 424-2	
	白萩西部小学校	丸山 43	
保育所	音杉保育園	法音寺 10-1	(福)毅行福祉会
	南加積保育園	広野 1540	(福)光南会
	認定こども園相ノ木保育園	飯坂新 125-1	(福)富山学院福祉会
	柿沢保育所	柿沢 828	上市町
	白萩西部保育所	湯上野 95-2	
	二チイ弓庄保育所	横越 17-1	(株)二チイ学館
	認定宮川こども園	中江上 96	(福)若杉児童福祉会
	若杉愛児保育園	若杉 52-4	
	上市町三日市保育園	三日市 3	(福)上市町三日市保育園
	上市保育園	北島 613	(福)上市保育園
放課後児童クラブ	上市中央放課後児童クラブ	横法音寺 1	上市町
	南加積放課後児童クラブ	広野 768	
	宮川放課後児童クラブ	中江上 2	
	相ノ木こどもふれあい館放課後児童クラブ	飯坂新 127	
	相ノ木こどもふれあい館放課後児童クラブ分室	上荒又 68	
	萩っ子放課後クラブ	丸山 43	地域住民団体
児童福祉施設	上市町こどもの城	上法音寺 17-3	上市町
	相ノ木こどもふれあい館	飯坂新 127	
	上市児童館	南町 2-6	
	大岩児童館	大岩 156	

## 高齢者関連

区分	事業所・施設名	所在地	設置者
訪問介護	上市町ホームヘルプステーション	湯上野 1176	(福)上市町社会福祉協議会
	ニチイケアセンター上市	神田 20-5	(株)ニチイ学館
	ハッピーとやま上市ヘルパーセンター	稗田 33-1	(株)とやまヒューマンサービス
	J A アルプス生活福祉センター	若杉 3-3	アルプス農業協同組合
	訪問介護ステーションつるぎ	森尻 746	(医社)藤聖会
	ヘルプステーション花のいえ	正印 684	(株)大井企画
訪問看護	中新川訪問看護ステーション	法音寺 51	中新川広域行政事務組合
訪問リハビリテーション	かみいち総合病院	法音寺 51 かみいち総合病院敷地内	上市町
	渡辺整形外科医院	上法音寺 12	渡辺整形外科医院
通所介護	常楽園デイサービスセンター	館 209	(福)富山聖マリア会
	ニチイケアセンター上市	神田 20-5	(株)ニチイ学館
	ひなたぼっこ上市デイサービスセンター	稗田 33-1	(株)とやまヒューマンサービス
	デイサービスやまやまハウス	稗田 13-16	(有)ウエルカム
	民間デイサービスひまわり	中小泉 68-4	(有)ハル
	デイサービススマイル・ハート	森尻 375	(株)スマイル・ハート
通所リハビリテーション	上市老人保健施設つるぎの庭	森尻 704	(医社)藤聖会
短期入所生活介護	特別養護老人ホーム常楽園	館 209	(福)富山聖マリア会
	ひなたぼっこ上市ショートステイセンター	稗田 33-1	(株)とやまヒューマンサービス
	ショートステイお茶の間	若杉 3丁目 418	NPO 法人かみいち福祉の里
短期入所療養介護	上市老人保健施設つるぎの庭	森尻 704	(医社)藤聖会
介護予防支援	上市町地域包括支援センター	湯上野 1176	上市町
居宅介護支援	上市町社協居宅介護支援事業所	湯上野 1176	(福)上市町社会福祉協議会
	かみいち居宅介護支援事業所	法音寺 51 かみいち総合病院敷地内	上市町
	上市老人保健施設つるぎの庭居宅介護支援事業所	森尻 704	(医社)藤聖会
	常楽園サービス	館 209	(福)富山聖マリア会
	ニチイケアセンター上市	神田 20-5	(株)ニチイ学館
	在宅介護支援事業所ハッピーとやま上市	稗田 33-1	(株)とやまヒューマンサービス
	居宅介護支援事業所ひまわり	中小泉 68-4	(有)ハル
	やまやまハウス居宅介護支援事業所	稗田 13-16	(有)ウエルカム
	元・気・楽居宅介護支援事業所	丸山 11	NPO 法人元・気・楽
	あおぞら居宅介護支援事業所	若杉 3丁目 522	(有)あおぞら
認知症対応型共同生活介護	グループホームあおぞら	若杉 3丁目 522	(有)あおぞら
	グループホームかみいち福祉の里	東江上 288	NPO 法人かみいち福祉の里
	グループホーム逢の希	上経田 5-1	(株)マクロコムジャパン
	ありがとうホーム上市	旭町 1282	(株)ミタホーム
認知症対応型通所介護	グループホームあおぞら	若杉 3丁目 522	(有)あおぞら
	グループホームかみいち福祉の里デイサービス	東江上 288	NPO 法人かみいち福祉の里
	グループホーム逢の希	上経田 5-1	(株)マクロコムジャパン
小規模多機能型居宅介護	小規模多機能お気良俱上市	稗田 32-1	(株)とやまヒューマンサービス
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	地域密着型特別養護老人ホーム湯崎野苑	湯崎野 206-1	(福)風の詩
地域密着型通所介護	お茶の間	若杉 3丁目 418	NPO 法人かみいち福祉の里
	デイサービス元・気・楽	丸山 11	NPO 法人元・気・楽
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム常楽園	館 209	(福)富山聖マリア会
介護老人保健施設	上市老人保健施設つるぎの庭	森尻 704	(医社)藤聖会
高齢者向け住宅	さつきの里	稗田 74-1	三建(株)
	ひなたぼっこ上市介護あんしんアパート	稗田 33-1	(株)とやまヒューマンサービス
	アルプスガーデンつるぎ	森尻 746	(医社)藤聖会
	花のさと	正印 684	(株)大井企画

## 障害者関連

区分	事業所・施設名	所在地	設置者
居宅介護	上市町ホームヘルプステーション	湯上野 1176	(福)上市町社会福祉協議会
	ニチイケアセンター上市	神田 20-5	(株)ニチイ学館
	ハッピーとやま上市ヘルパーセンター	稗田 33-1	(株)とやまヒューマンサービス
	TSケア	鍵町 69	(株)ONE LIFE
同行援護	上市町ホームヘルプステーション	湯上野 1176	(福)上市町社会福祉協議会
	ニチイケアセンター上市	神田 20-5	(株)ニチイ学館
就労継続支援(B型)	さつき苑	湯上野 546	(福)新川会
	工房よつば	稗田字七郎谷 1-32	(福)新川会
	であい工房	柳町 23	(福)むつみの里
	ワークハウス劔	中江上 99-1	NPO 法人ワークハウス劔
	いっぽいっぽ上市	正印 154-1	いっぽいっぽ(株)
自立訓練(生活訓練)	デイサービス元・気・楽	丸山 11	NPO 法人元・気・楽
自立訓練(機能訓練)	デイサービス元・気・楽	丸山 11	NPO 法人元・気・楽
生活介護	四ツ葉園	稗田字七郎谷 1-32	(福)新川会
	さつき苑	湯上野 546	(福)新川会
	デイサービス元・気・楽	丸山 11	NPO 法人元・気・楽
短期入所	四ツ葉園	稗田字七郎谷 1-32	(福)新川会
	特別養護老人ホーム常楽園	館 209	(福)富山聖マリア会
	新川会グループホーム	堤谷 384	(福)新川会
共同生活援助	新川会グループホーム	堤谷 384	(福)新川会
	里の房	西町 33	(福)むつみの里
	知的障害者グループホームお茶の間	若杉 3丁目 418	NPO 法人かみいち福祉の里
障害者支援施設	四ツ葉園	稗田字七郎谷 1-32	(福)新川会
相談支援	新川会地域生活相談室	稗田字七郎谷 1-32	(福)新川会
	地域生活支援センター自然房	柳町 23	(福)むつみの里
地域活動支援センター	地域生活支援センター自然房	柳町 23	(福)むつみの里
児童発達支援・放課後等デイサービス	デイサービス元・気・楽	丸山 11	NPO 法人元・気・楽
日中一時支援	四ツ葉園	稗田字七郎谷 1-32	(福)新川会
	さつき苑	湯上野 546	(福)新川会
	デイサービスお茶の間	若杉 3丁目 418	NPO 法人かみいち福祉の里
	デイサービス元・気・楽	丸山 11	NPO 法人元・気・楽

## 公民館関連

区分	事業所・施設名	所在地	設置者
公民館	上市公民館	南町 19	上市町
	音杉公民館	横法音寺 80	
	宮川公民館	中江上 94-1	
	南加積公民館	広野 1540-1	
	柿沢公民館	柿沢 428-1	
	相ノ木公民館	飯坂新 121	
	白萩西部公民館	湯上野 5	
	白萩南部公民館	東種 17	
	白萩東部公民館	折戸 1145-乙	
	大岩公民館	大岩 156	
	山加積公民館	黒川 112	
	弓庄公民館	横越 1-7	

# 4

## 第2章 地域福祉の状況

# 地域福祉の課題

- 本章に掲載した資料及び巻末の資料編に掲載したアンケート調査結果より、本町の福祉の課題を整理します。

### 急速な人口の減少と少子高齢化の進行

- 本町の人口は減少を続けており、高齢者の割合が国や県の平均以上に伸びています。反対に、15歳未満人口の割合は低下しており、少子高齢化が進んでいるのが現状です。
- また、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯の増加が顕著で、令和2年度では一般世帯の約3割が高齢者のみの世帯というのが現状です。
- 将来推計値をみると、こうした傾向は今後も続くことが予想されます。高齢者が多い地域での福祉のあり方を検討していく必要があります。

### 地域におけるささえあいの減少やなり手・担い手の減少

- アンケート調査では、地域福祉の課題として「町民同士のまとまりや助け合いが少なくなってきた」とことや「町内会・まちづくりなどの役員のなり手・担い手が少ない」とこと等が課題として指摘されています。その一方で、「できるだけ地域でのできごとに関心を持つ」とことは町民としてできることであると答えた人が多く見られ、行動と意識が一致していないのが現状であると考えられます。その原因には様々な要因があると考えられますので、現状を踏まえつつ、地域ぐるみで課題の解決に取り組んでいけるようにしていくことが大切です。

### 災害時における安心

- 上記のほか、「高齢者・障害者が災害時に安心して避難できる支援体制の整備」も地域の課題の上位となっています。地域の災害時に支援を要する人を地域の住民が支援できるしくみや体制を強化し、だれもが安心して生活できる地域を実現する必要があります。
- ここに取り上げた課題のほかにも、地域には多様な課題が存在します。相談者の属性（高齢者、障害者、子どもの保護者等）を問わず、だれもが相談でき、課題の解決を地域ぐるみで支援することができる重層的な支援体制を整備していくことが必要と考えられます。

## 第3章

# 計画の 基本理念と目標





## 計画の基本理念

<基本理念>

つながる にぎわう ささえあう  
安心して暮らせるまち 上市

- 第8次上市町総合計画では、本町が今後目指すべき将来の姿を「つながる にぎわう ささえあう すべては私とミライのために みんなが主役のまち 上市」としています。これは、未来のために一人ひとりが主体的に取り組む意識を高めることが重要であるとの認識に立ち、困難があっても町民同士がささえあい、私たちみんなが主役の町を目指そうとする考え方です。
- また、総合計画の福祉・健康施策では、「町民一人ひとりが主体的に健康に心掛け、仲間や地域とのつながりをつくることで、生きがいと幸福感を感じながら暮らせるまち」を目指すものとしています。
- 今日、地域福祉においては、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることを目指す“地域共生社会”の実現が提唱されています。住民が主体となって課題を解決しようとする総合計画の考え方は、地域福祉を進める上でも大変重要な概念であるといえます。
- 第3期上市町地域福祉計画では、総合計画の将来像を基本理念として掲げてきました。本計画においては、「総合計画の将来像」と「地域共生社会」の考え方を踏まえて、「つながる にぎわう ささえあう 安心して暮らせるまち 上市」を基本理念とします。

# 2

## 第3章 計画の基本理念と目標

# 計画の目標

### 基本目標1 ともにささえあう「ひとづくり」

- 基本目標1 “ともにささえあう「ひとづくり」”では、地域福祉に関心を持ち、地域福祉活動に参加する人を育てる取組を行います。自分たちの地域の福祉課題を“他人事”ではなく“我が事”として捉え、その問題の解決方法を考えて取り組むことができる住民を育てていくことが、「地域共生社会」の実現には必要不可欠なことといえます。
- また、近年は、福祉や介護サービス等の現場における人材不足も深刻です。多くの住民が自分たちの地域の福祉に関心を持つことをきっかけとして福祉を専門的に学び、専門的なスキルを持つ人を増やしていく必要があります。

### 基本目標2 安心して暮らせる「地域づくり」

- 基本目標2 “安心して暮らせる「地域づくり」”では、様々な支援を地域で受けられる状態を目指した取組を行います。近年、住民の福祉ニーズは複雑化・複合化しており、包括的な支援の実施が必要とされています。相談体制を中心として、住民のニーズへの対応を目指す「重層的支援体制整備事業」を軸とし、相談者の属性に関わらない包括的な相談支援、社会とのつながりを回復するための参加支援、住民同士の顔が見える地域づくり支援の3つを柱とする取組を進める必要があります。

### 基本目標3 安全・安心な「福祉の環境づくり」

- 基本目標3 “安全・安心な「福祉の環境づくり」”では、様々な福祉課題を踏まえた施策の充実を目指します。各種福祉サービスを安心して利用できる状態の確保に加えて、災害時の避難行動要支援者への支援、バリアフリー化等の生活環境の整備、障害者や生活困窮者等への支援、高齢者や障害者等の権利の擁護、再犯防止の対策等を進め、すべての住民が安心して生活できるまちの実現を目指します。

# 3

## 第3章 計画の基本理念と目標

# 施策の体系

基本目標	施策	施策の方向
<b>基本目標1</b> ともにささえあう 「ひとつづくり」	1-1 地域福祉への関心を高め、福祉に関心を持つ人を増やします	①人に寄り添いささえあう心の醸成 ②子育て支援の気運の醸成 ③住民参加の福祉活動の推進
	1-2 福祉を学ぶ人を支援します	①地域福祉を担う人材の育成 ②認知症サポーターの養成
	1-3 ボランティア活動に参加する人を育てます	①ボランティア意識の啓発と情報提供 ②ボランティア体験事業の充実 ③ボランティア登録の推進
<b>基本目標2</b> 安心して暮らせる 「地域づくり」	2-1 だれでも利用できる相談支援体制を強化します	①総合相談体制の充実 ②訪問による相談の推進
	2-2 だれもが参加でき、安心して暮らせる地域づくりを進めます	①ニーズに応じた就労への支援 ②だれもが参加しやすい地域イベントの実施への支援
	2-3 地域でささえあう体制や仕組みをつくります	①地域社会を支えるネットワークづくりの推進 ②住民参加による地域福祉活動への支援 ③地域におけるボランティア活動等への支援 ④多様な社会資源に対するネットワーク参加への働きかけ ⑤地域における問題解決の仕組みの実現 ⑥民生委員・児童委員への研修、情報提供の推進 ⑦地域におけるニーズの把握 ⑧地域での見守りの推進
<b>基本目標3</b> 安全・安心な「福祉の環境づくり」	3-1 避難行動要支援者を支援します	①自主防災活動の推進 ②避難行動要支援者名簿の運用 ③災害時のボランティア受入体制の整備
	3-2 地域で安心して暮らせる環境をつくります	①生活環境のバリアフリー化の推進 ②路線バスの環境整備 ③ひとり暮らし高齢者等の把握 ④防犯対策の充実 ⑤住宅環境の整備 ⑥孤立防止と仲間づくりの推進
	3-3 安心してサービスを利用できる仕組みをつくります	①サービス事業者への情報提供 ②サービスを必要とする人への情報提供 ③虐待の早期発見と支援体制の構築
	3-4 障害者や生活困窮者等への支援を充実します	①障害者への支援 ②生活困窮者への支援 ③生活困窮世帯の子どもへの支援
	3-5 高齢者や障害者等の権利を守る支援を充実します	①成年後見制度の普及 ②地域連携ネットワークの構築
	3-6 犯罪をした人の生活を支援します	①再犯防止の推進 ②犯罪をした人の人権についての啓発 ③保護司及び関係機関との連携の推進 ④関係団体の活動への支援 ⑤広報・啓発活動の推進 ⑥適切な保健医療・福祉サービスの提供



## 第4章



# 施策の展開

---



# 1

## 第4章 施策の展開

# ともにささえあう「ひとづくり」

## 1-1 地域福祉への関心を高め、福祉に関心を持つ人を増やします

- 人口の減少に伴い、地域の福祉活動の担い手は今後ますます不足していくものと考えられます。自分たちの課題を自分たちで解決していく「自助」又は「互助・共助」の力を発揮していくため、様々な人と接し、地域の課題を知る機会を増やし、福祉への関心を高めます。

### 施策の方向

#### ① 人に寄り添いささえあう心の醸成

人に寄り添いささえあう心が広く住民に定着し、だれもが地域社会を構成する一員であるとの意識を持てるよう、啓発活動を推進します。

#### ② 子育て支援の気運の醸成

家族のふれあいの大切さを啓発する活動を推進するとともに、子どもの成長や子育てを社会全体で支援する意識づくりを推進します。

#### ③ 住民参加の福祉活動の推進

住民自らが積極的に参加する地域福祉活動が活発に展開されるよう、住民に対する意識啓発を行います。

### 住民の声（アンケート調査より）

- 今後、独居高齢者が更に増加すると思うので、町内等の地域で支える仕組みづくり・啓発が肝要だと思う。(20歳代 女性)
- まず、高齢者の方の地域への関心・関わりを増やすことが、福祉の充実につながっていくと思う。(20歳代 男性)
- 安心・安全・健全を福祉事業で具体化するために、住民が（いずれは自分も）参画し世話し合えるようなコミュニティ（地域社会）を目指していきたいです。(60歳代 男性)
- 地域の住民の協力が大切だと思っています。そのことで、一人一人の心の持ちようが高まる啓発活動をしていただければ嬉しく思います。(70歳代 女性)
- 福祉は人任せでなくて、自分自身が「礎」となって、人は人として尊重し合い、先進し行動することが大切だと思います。(70歳代 男性)

## 1-2 福祉を学ぶ人を支援します

- 福祉や介護サービス等の現場における人材不足も重要な課題です。福祉に関心を持てる機会を多くつくとともに、福祉について学習できる機会を充実し、人材を育てます。

### 施策の方向

#### ① 地域福祉を担う人材の育成

ボランティア活動のリーダーや活動に関わる人材を育成するため、ふれあいいきいきサロンボランティア等養成研修会や、地区社会福祉協議会単位で地域福祉活動に関わる人材を育成するための研修会等を開催します。

#### ② 認知症サポーターの養成

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する人を増やすため、認知症サポーター養成講座の開催を継続します。

### 住民の声（アンケート調査より）

- これからの地域を作っていくためには、若い人たちの考えや力がとても大切だと思う。そして、中間層の方々のリードの仕方もとても重要だと思う。地域の課題をまず自分たちの課題として身近に感じる仕掛けから考えないといけないと思う。関心を持ってもらうこと（自分を含め）、そしてそういう人たちを牽引する人物が一定人数必要だと思う。（20歳代 女性）
- 若い人達が地域づくりに興味を持ってもらえるようなイベントや意見交換会等を開き、上市町を支えていく人材の育成を行えば良いと思います。（50歳代 女性）
- 福祉・防災・環境等あらゆる分野で住民が学習できる機会を地域ごとに開催し、一人ひとりの認識を高めれば良いと思う。まずは理解する事が必要だと思う。（60歳代 女性）

## 1-3 ボランティア活動に参加する人を育てます

- ボランティア活動に関する情報提供をはじめ、ボランティア活動を体験できる機会をつくるなど、ボランティア活動に参加する人を育てます。

### 施策の方向

#### ① ボランティア意識の啓発と情報提供

ボランティア活動への関心を高め、ライフスタイルとしてのボランティア活動が定着するよう意識啓発に努めます。また、ボランティア活動参加への動機づけとなるよう、町及び町社会福祉協議会の広報やホームページ等でボランティア活動に関する情報を積極的に発信します。

#### ② ボランティア体験事業の充実

学校や社会福祉施設、民生委員・児童委員、ボランティア団体等の協力を得ながら、ボランティアスクールや福祉ふれあいフェスティバル等の参加型のイベントを開催し、ボランティアのきっかけとなる場づくりを充実します。また、福祉施設や地域のボランティア活動を通して、児童・生徒が福祉関連事業に関心を持ち、将来の進路の1つとして興味を持てるよう努めます。

#### ③ ボランティア登録の推進

ボランティア連絡協議会やボランティアサポーターと連携を取り、地域でボランティア活動に意欲のある住民・団体等のボランティア登録を促進し、活動の状況等の把握に努めます。

### 住民の声（アンケート調査より）

- ボランティア登録制度といったものを作り、IT技術を活用して手軽に参加募集できるようにしたらもっと人が集まるのでは。専用アプリを作って、手軽に行政とコミュニケーションを取れるようにしたら面白いと思う。(50歳代 男性)
- 気軽に参加できるボランティアがたくさんあればよい。暇な人がたくさんいると思う。(50歳代 男性)
- 持続可能な体制を作ってほしい。ボランティアに関して、木の枝落とし等、シルバーが生き生きと活躍でき交流にもなる仕事の創出をお願いしたい。(50歳代 男性)
- ますます高齢化が進む現在、住みやすい「地域づくり」にはできる限り年齢の若い人達の参画が必要になると思います。そのために、若い方への呼びかけ、参加を促す施策が必要であると思います。(70歳代 男性)
- 年少からの「福祉」についての教育は大事なことだと思います。将来を考え、長い目で育てていく施策をお願いします。(70歳代 男性)

# 2

## 第4章 施策の展開

# 安心して暮らせる「地域づくり」

## 2-1 だれでも利用できる相談支援体制を強化します

- 安心して暮らせる地域をつくるために、相談者の属性に関わらずだれでも利用できる相談支援体制をつくりまます。また、相談内容に応じて適切な支援が提供できるよう、多職種が連携して支援する体制をつくりまます。同時に、相談機会を自ら利用することが難しい人に対しては、訪問等を通じて支援します。

### 施策の方向

#### ① 総合相談体制の充実

住民がより利用しやすい窓口となるよう、高齢者、障害者、児童等に関する総合的な相談体制を充実させまます。同時に、各関連機関の連携を強化して、専門的な相談体制の充実に努めまます。

#### ② 訪問による相談の推進

保健師、福祉担当職員等が、高齢者や障害者、妊産婦、乳幼児等のいる家庭を訪問し、各家庭が抱える保健福祉ニーズを把握しまます。

また、ひきこもりの状態にあるなど、自ら支援につながる事が難しい人への支援が可能となるような取組を行います。

### 住民の声（アンケート調査より）

- 福祉等の相談窓口となる役場や病院等、対応する方の対応力。頼れる場所になってほしい。人材を育ててほしい。(20歳代 男性)
- カウンセラーの方々に気軽に相談できる場を考えてほしい。(40歳代 女性)
- 相談するにしても、どこへどんなふう相談したらよいかわからない。(60歳代 女性)
- だれもが身近なところで（電話でも）相談できることや場所が必要であるように思う。(70歳代 女性)

## 2-2 だれもが参加でき、安心して暮らせる地域づくりを進めます

- 高齢者、障害者、生活困窮者等、社会参加に課題がある人のニーズを踏まえてきめ細かな支援を行うことにより、社会参加を支援します。

### 施策の方向

#### ① ニーズに応じた就労への支援

高齢者、障害者、生活困窮者等が就労の機会を得て社会参加できるよう、ニーズに応じた就労への支援を行います。

#### ② だれもが参加しやすい地域イベントの実施への支援

地域で行われるイベントのメニュー等を工夫することを通じて、高齢者、障害者、子ども等のだれもが参加できるよう支援します。

### 住民の声（アンケート調査より）

- 今以上に障害者専用の働き場があればよい。仕事場（社会）と病院のデイケアの中間で行き場のない人の施設を作ってほしい。中間的な場が少ない。（40歳代 女性）
- 外出のしにくい寝たきりの高齢者や障害者も社会参加できる機会を作ること。（50歳代 男性）

## 2-3 地域でささえあう体制や仕組みをつくりま

- 地域の現状やニーズを踏まえながら、住民同士の顔が見えるような地域づくりを行います。

### 施策の方向

#### ① 地域社会を支えるネットワークづくりの推進

地域において、住民、町内会、ボランティア、地域の民生委員・児童委員、事業者、町社会福祉協議会、地域包括支援センター等、関係者がネットワークを形成し、地域内での情報を共有して互いに協力し助け合う活動を推進します。

#### ② 住民参加による地域福祉活動への支援

住民が主体的に取り組んでいる地区社会福祉協議会組織の強化を支援し、住民相互がささえあう体制づくりを推進します。地区社会福祉協議会の活動の状況を踏まえながら、地域ごとの体制づくりを支援します。

#### ③ 地域におけるボランティア活動等への支援

活動の中心となる人材を育成するとともに、先駆的な取組事例を収集するなど、地域におけるボランティア活動等への支援を行います。

#### ④ 多様な社会資源に対するネットワーク参加への働きかけ

地域の介護保険事業所や障害者福祉関連施設等に対して、研修会への講師派遣やボランティアの受入れ等を働きかけるとともに、これまであまり連携のなかった機関へも、地域福祉という観点からのネットワークへの参加を働きかけます。

#### ⑤ 地域における問題解決の仕組みの実現

地域における身近な問題の解決のため、地域におけるネットワークづくりの構築を推進します。地区社会福祉協議会は、地域のニーズを的確に把握することができるため、ネットワークの重要な役割を担うことができるよう支援します。

#### ⑥ 民生委員・児童委員への研修、情報提供の推進

複雑化・多様化する住民の福祉ニーズに対応することができ、実際の活動上の悩みや負担感を解消できるよう、民生委員・児童委員を対象とした各種研修等を開催し、活動が効果的に行われるよう支援します。

また、民生委員・児童委員が、援助を必要とする人に対して適切な助言や福祉サービス情報の提供ができるよう、各関係機関と連携をするとともに、情報の共有化を促進します。

#### ⑦ 地域におけるニーズの把握

民生委員・児童委員、町社会福祉協議会、地区社会福祉協議会等と行政が連携しながら、地域の福祉ニーズの把握と生活課題の発見に努め、適切な福祉サービスに結びつけることができる体制づくりを進めます。

## ⑧ 地域での見守りの推進

民生委員・児童委員や地区社会福祉協議会等による見守りや安否確認を通じて、問題を早期に発見し、必要な支援等を行っていくことができる見守り活動を推進します。

---

### 住民の声（アンケート調査より）

---

- 福祉士の人たちが地域に出て活動、調整ができる体制づくり。(40歳代 女性)
- どんな世代にも情報が周知されるような体制、仕組みづくりを望みます。(40歳代 女性)
- 自分らしく暮らしていけるように、多様なささえあいを形にしてほしい。近所、校区、町へと広がる連携作り。(50歳代 女性)
- 福祉課のみで考え推進するのではなく、教育委、町民課、建設課、産業課等トータルで「地域づくり」を考えることが必要であると思う。(60歳代 女性)
- 役場内に総合相談窓口を設置し、専門職を配置してほしい。(60歳代 男性)

# 3

## 第4章 施策の展開

# 安全・安心な「福祉の環境づくり」

### 3-1 避難行動要支援者を支援します

- 災害時に高齢者、障害者等を支援することができるのは、身近なところで生活する住民です。災害時に支援を必要とする人が地域のどこにいるのかを日頃から把握し、住民の防災への意識を高め、地域における取組を強化します。
- また、災害発生時にボランティアの受入れ等を円滑に行うことができるよう、受入体制や機能を強化します。

#### 施策の方向

##### ① 自主防災活動の推進

自主防災組織が行う防災訓練や研修活動等に対し、消防署員の派遣や助成金の交付等の支援を行います。

避難行動要支援者への対応については、地域の協力が不可欠であることから、自主防災組織への普及啓発を進めます。

##### ② 避難行動要支援者名簿の運用

災害発生時に避難行動要支援者を確実に支援するため、避難行動要支援者名簿の情報共有や運用方法の確立、名簿情報の更新等を行います。また、避難行動要支援者の実態に合わせた個別避難支援を実施できる体制を整備します。

##### ③ 災害時のボランティア受入体制の整備

災害発生時に町社会福祉協議会等が速やかに災害救援ボランティア本部を立ち上げることができる体制を確保するとともに、ボランティアコーディネーターの養成、ボランティアの受入拠点の整備等を進めます。

#### 住民の声（アンケート調査より）

- 富山県は比較的大きな自然災害が少なく、緊急時や災害時に対する意識を持つ方が少ないと思うので、これらに対する意識を高めていけるようなサポートをよりしていただきたいと思います。(20歳代 女性)
- 災害時に助ける地域の担当を決めておく。(50歳代 女性)

## 3-2 地域で安心して暮らせる環境をつくります

- 地域のバリアフリー化を進めるとともに、利用しやすい移動交通手段の確保、ひとり暮らし高齢者等の把握、防犯対策の充実等、安心して暮らせる環境づくりを行います。
- また、だれひとり孤立させない地域社会を目指し、高齢者や子育て家庭等の交流機会をつくります。

### 施策の方向

#### ① 生活環境のバリアフリー化の推進

公共建築物や道路等のバリアフリー化を推進し、高齢者や障害者等が安全に暮らせるよう支援します。また、高齢者や障害者に限らず、だれもが安全に社会参加でき、快適に利用できるユニバーサルデザインによるまちづくりを進めます。

#### ② 路線バスの環境整備

車を運転できない住民にとって重要な交通手段であるコミュニティバス路線が、利用しやすい交通手段となるよう改善します。

#### ③ ひとり暮らし高齢者等の把握

地域の民生委員・児童委員と連携し、見守りが必要なひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の把握に努め、ひとり暮らし高齢者等の安全・安心を確保します。

#### ④ 防犯対策の充実

高齢者等が被害を受ける犯罪が発生しているため、警察等の関係機関と連携して各地区や町内会単位等で防犯教室等の開催に努め、防犯についての意識啓発を行います。

#### ⑤ 住宅環境の整備

高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して暮らすための生活基盤として、高齢者や障害者の生活特性に配慮した仕様の住まいづくりを推進します。

#### ⑥ 孤立防止と仲間づくりの推進

高齢者や子育て家庭等の孤立防止を目的に、身近な地域において高齢者や親子が交流できる場づくりを支援します。

### 住民の声（アンケート調査より）

- 公共施設をだれもが使用しやすいように、新しくきれいに、そしてバリアフリーに変えてほしい。(20歳代 女性)
- 車が運転できない状態になった場合でも生活を維持できる環境であってほしい。(40歳代 女性)
- 車椅子でも乗車できる福祉バス。(60歳代 女性)

- 一人暮らし高齢者が住める賃貸アパートを作ってほしい。家を持って一人で暮らしていても維持できなかつたり、高齢では住みにくい家が多いと思います。将来を支える子ども達や高齢者が楽しく住める上市町を望みます。(60歳代 女性)
- 一人暮らしの人の見守りをどうするか。組織的にできないか。(70歳代 男性)
- 運転免許証を返納すると外出がままならない。(年齢無回答 女性)

### 3-3 安心してサービスを利用できる仕組みをつくります

- サービス事業者への情報提供、利用者への情報提供等を通じて、安心してサービスを利用できるよう支援します。

#### 施策の方向

##### ① サービス事業者への情報提供

新規参入事業者や小規模事業者が地域に密着し、充実した福祉サービスを行えるよう、情報提供等の必要な支援を行います。

##### ② サービスを必要とする人への情報提供

福祉サービスを必要とする人が、必要とするサービスの情報を得ることができるよう、サービスの内容や制度、事業者の情報等をわかりやすく提供します。パンフレット、しおり、広報等への掲載をはじめ、多くの人がいつでも情報を得られるようインターネットを活用した情報提供も行います。

##### ③ 虐待の早期発見と支援体制の構築

高齢者、障害者、子ども等への虐待を早期に発見し、早期に支援できるよう、地域の住民への啓発と協力要請を進めるとともに、関係機関と連携して支援体制を強化します。

#### 住民の声（アンケート調査より）

- 高齢になっても住み続けることができるように、利用したい施設（医療、買い物等）に行くことができる（移送サービス）など、充実したら良いと思う。（30歳代 女性）
- 買い物等に行けない方への代行サービス事業のようなものがあればよい。（50歳代 男性）
- 買物が容易にできなくなった場合にケアするサービス（商品を積んだ移動車の循環等）があると助かります。スーパーマーケット・コンビニとの協賛で利用できないものではないでしょうか。（60歳代 女性）

## 3-4 障害者や生活困窮者等への支援を充実します

- 一人ひとりの障害者等の状況に合わせた適切な支援を行います。
- 様々な理由で生活に困窮している人の現状を把握し、適切な支援を行います。
- 生活困窮世帯の子どもの将来を踏まえて、多様な支援を行います。

### 施策の方向

#### ① 障害者への支援

障害者福祉では、行政や障害福祉サービス事業所による支援は各法制度等により整備されている中、自立支援協議会を開催して情報共有を行っているほか、事業所と連携しながら日中の活動や相談の場を提供しています。今後は、安心して自分らしい生活を営むことができるよう、一人ひとりの状況やニーズに応じた福祉サービスの充実に努めます。

#### ② 生活困窮者への支援

相談者のニーズに幅広く対応できるよう、相談体制を充実します。自立に向けた支援プランを作成し、就労支援や住居の確保等、個々の課題に沿った支援を行います。

#### ③ 生活困窮世帯の子どもへの支援

生活困窮世帯の子どもの学習支援をはじめ、日常的な生活訓練、居場所づくりや進学への支援等、子どもの明るい未来のための支援を行います。

### 住民の声（アンケート調査より）

- まだまだ救われない、障害者や高齢者がいると思います。自分から助けを求められない人もいると思うので、本当に必要とされている人に必要なサービスが受けられるような流れができた方がいい。(40歳代 女性)

## 3-5 高齢者や障害者等の権利を守る支援を充実します

- 判断能力が十分でない高齢者や障害者等の権利擁護の支援を行うため、成年後見制度が必要な人の利用につながるよう、制度の利用促進体制の整備を図ります。
- 「成年後見制度の利用に関する法律」において、市町村は国の「成年後見制度利用促進基本計画」を勘案し、成年後見制度の利用促進に関する施策について基本的な計画を定めるよう努めるものとされています。この項目では市町村計画として、本町における成年後見制度の利用促進に向けて今後の方向性について示します。

### 施策の方向

#### ① 成年後見制度の普及

認知高齢者や知的障害者、精神障害者等の権利を擁護する仕組みとして、成年後見制度があります。町福祉課や相談窓口へのパンフレットの配置や、制度の利用が必要な人を発見し支援につなげるための出前講座の実施等により、制度の周知を図ります。

成年後見制度の利用支援として、制度利用の申立てが必要でありながら、申立てをとする親族等が不在な場合等は町長申立てを行います。また、経済的理由から後見人報酬の負担が困難な人に助成を行うなど、制度利用が必要な人を支援します。

認知高齢者や知的障害者、精神障害者等、判断能力が十分でない人が地域で自立した生活が送れるよう日常生活自立支援事業とより一層連携していきます。

#### ② 地域連携ネットワークの構築

全国どの地域に住んでいても、成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるような地域体制の構築を目指しており、市町村において地域連携ネットワーク及び中核機関を整備することが求められています。

地域連携ネットワークについては、以下の基本的な仕組みを整備すべきとあります。

- 福祉等の関係者と後見人等がチームとなって本人を見守る体制
- 福祉・法律の専門団体が協力して個別のチームの支援をする仕組み（協議会）
- 地域連携ネットワークの整備・運営の中核機関

本人に身近な親族や福祉・医療・地域の関係者、後見人が協力して日常的に本人を見守り、本人の意思や状況をできる限り継続的に把握し支援しているケース会議をもとに、既存のネットワークの会議に法律の専門団体の協力を得て協議会として活用できるよう準備を進めていきます。

今後、町と町社会福祉協議会、家庭裁判所、専門職団体等の関係機関・関係団体と中核機関の設置・運営について検討していきます。

## 3-6 犯罪をした人の生活を支援します

- 犯罪をした人が再犯することなく、地域で生活していくことができるよう、再犯防止対策を進めます。「誰一人取り残さない」社会の実現を基本的な考え方とし、犯罪被害者に十分配慮した上で、犯罪をした人自身が社会復帰のために自ら努力することの重要性を踏まえて進めます。同時に、住民が不安に感じることのないよう、情報提供や啓発を行います。
- 「再犯の防止等の推進に関する法律」において、都道府県及び市町村は国の「再犯防止推進計画」を勘案し、再犯の防止等に関する施策の推進に関する計画を定めるよう努めるものとされています。この項目では市町村計画として、本町における再犯の防止等に関する施策の推進に向けて今後の方向性について示します。

### 施策の方向

#### ① 再犯防止の推進

富山県再犯防止推進計画に基づき、中新川郡更生保護協力会等関係機関と連携しながら、再犯防止施策を推進し、犯罪をした人の社会復帰を支援し、再犯防止に努めます。

#### ② 犯罪をした人の人権についての啓発

犯罪をした人に対する差別的言動等の人権問題を未然に防ぐため、犯罪をした人の人権についての意識啓発を行います。

#### ③ 保護司及び関係機関との連携の推進

地域において犯罪をした人の指導・支援にあたる保護司との情報共有や連携を推進するとともに、国、県、関係団体等、関係機関との連携を図ります。

#### ④ 関係団体の活動への支援

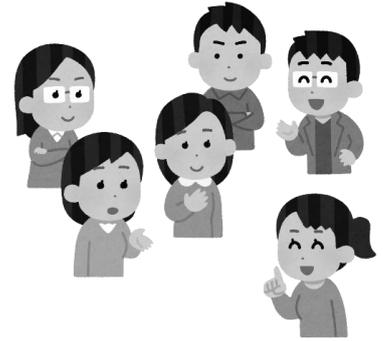
再犯防止関連施策の実施は、保護司をはじめ、犯罪をした人の社会復帰を支援する中新川保護区保護司会、中新川郡更生保護女性会、中新川地区更生保護協力雇用主会、中新川郡更生保護協力会等、関係団体の活動に支えられていることから、その活動に対する支援を行います。

#### ⑤ 広報・啓発活動の推進

犯罪のない社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」の啓発活動に対して協力するとともに、広報等を通じて、再犯防止に関する広報・啓発活動を推進します。

#### ⑥ 適切な保健医療・福祉サービスの提供

高齢者、障害者等に対して、必要な保健医療・福祉サービスが犯罪をした人であるか否かを問わずに適切に提供されるよう、関係機関との連携や啓発活動に努めます。



# 資料編





## 1

資料編

## 上市町地域福祉計画策定委員会委員名簿

(敬称略・50音順)

委員名	役職
碓井 秀樹	上市町企画課長
碓井 裕子	社会福祉法人むつみの里統括施設長
奥井 健一	社会福祉法人上市町社会福祉協議会会長
西田 勝博	上市町地区社会福祉協議会連絡会議会長
野越 サト子	上市町民生委員児童委員協議会会長
堀田 喜久男	上市町児童クラブ連合会会長
松本 寛	上市町議会産業厚生常任委員会委員長
村井 榮悦	上市町区長協議会会長
八倉巻 正雄	上市町老人クラブ連合会会長
山口 和子	上市町ボランティア連絡協議会会長

# 2

資料編

## 地域福祉に関するアンケート調査結果

### I 調査の概要

#### 1 調査の目的

##### 1-1 調査の目的

本調査は、「地域福祉」に関する住民の考えや意見を把握し、「上市町地域福祉計画」策定のための基礎資料を得ることを目的に実施しました。

##### 1-2 調査の設計

調査地域：上市町全域

調査対象：満18歳以上の住民

標本サイズ：1,500人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和3年9月16日～10月4日

##### 1-3 回収の結果

配布数	回収数	有効	無効
1,500	812	812	0
100.0%	54.1%	54.1%	0.0%

##### 1-4 調査の結果の見方

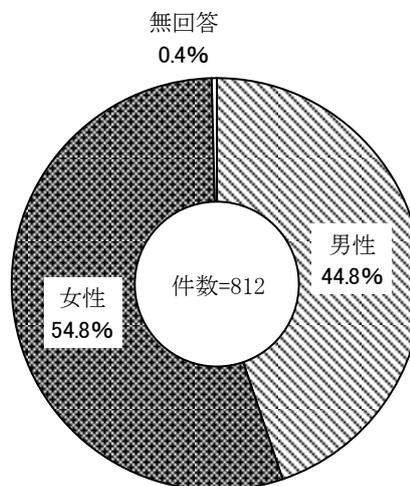
- (1) 比率はすべて%で表し、小数点第2位以下を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、件数として掲載しました。したがって比率は、件数を100%として算出しています。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 表、グラフ及び文章における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。
- (5) クロス集計表内で、各層における各項目の比率の上位第3位までの数値をゴシック体太字で表記し、第1位に濃い網掛け、第2位に薄い網掛けをしています。ただし、件数が10件未満の層については、比率の誤差が大きいと考えられるため、これらの表示はせず、比率の高低についての分析もしていません。【問13参照】
- (6) 各質問（「回答者の属性」を除く。）の単純集計結果については、同様の調査設計で平成28年度に実施した「地域福祉に関するアンケート」（件数=647）と5年間の経年比較を行っています。

## II 調査の結果

### 1 回答者の属性

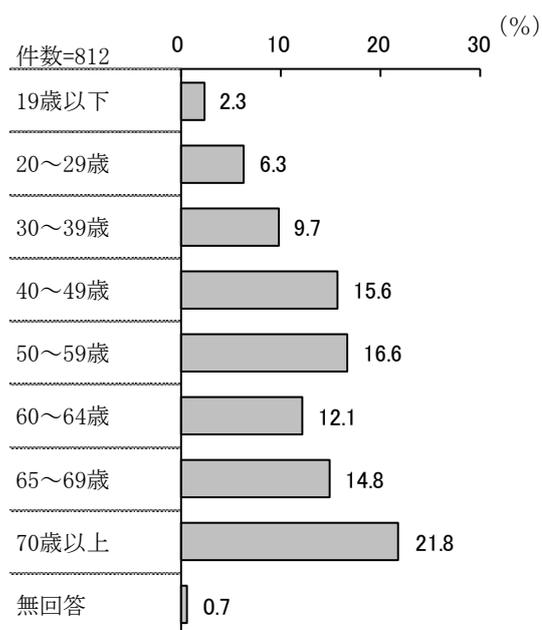
#### 1-1 性別

性別は、「男性」が44.8%、「女性」が54.8%となっています。



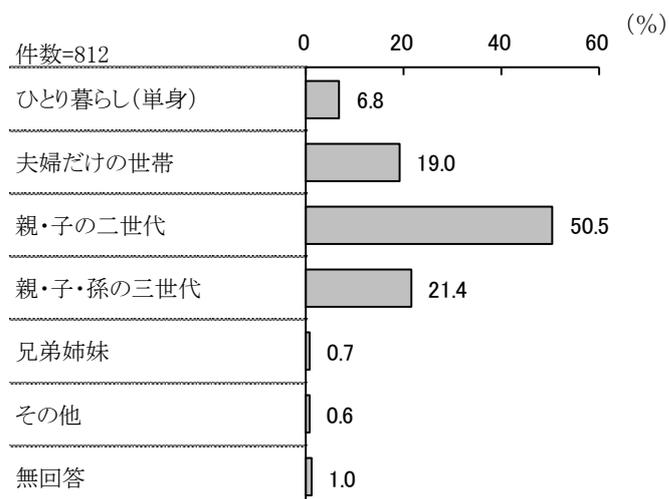
#### 1-2 年齢

年齢（令和3年9月1日現在）は、『60歳代』（「60～64歳」「65～69歳」の計）が26.9%で最も高く、次いで「70歳以上」が21.8%となっています。



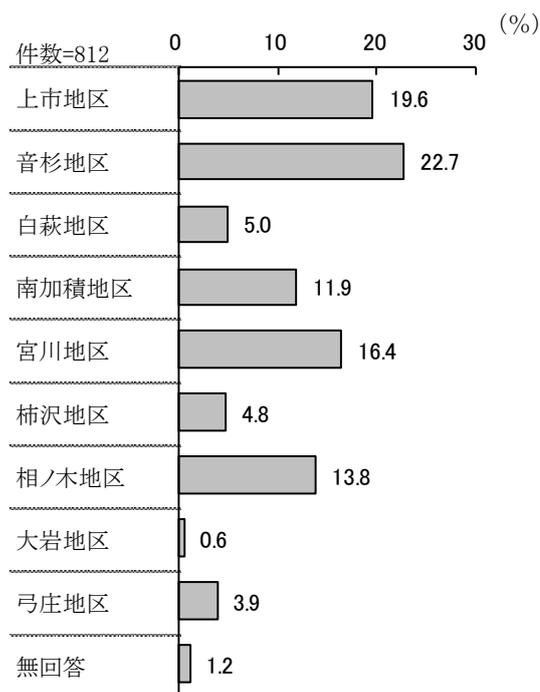
#### 1-3 世帯構成

世帯構成は、「親・子の二世帯」が50.5%で最も高く、次いで「親・子・孫の三世帯」が21.4%となっています。また、「夫婦だけの世帯」は19.0%、「ひとり暮らし（単身）」は6.8%となっています。



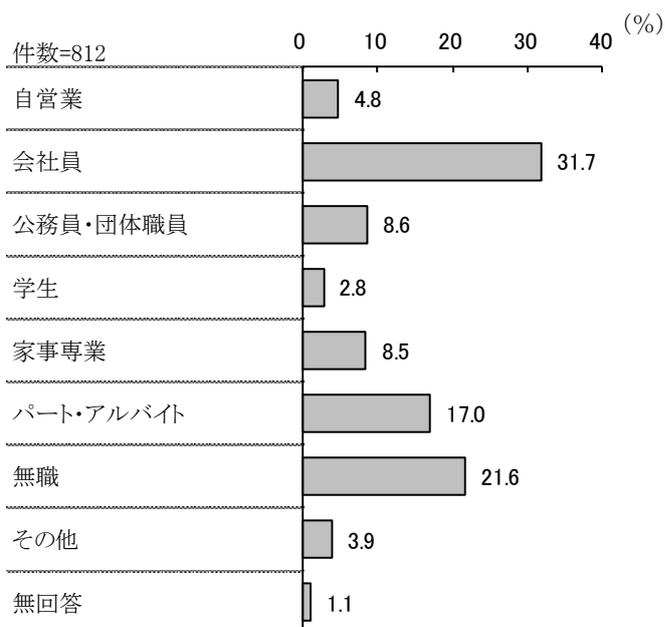
### 1-4 居住地区

居住地区は、「音杉地区」が22.7%で最も高く、次いで「上市地区」が19.6%、「宮川地区」が16.4%で続き、「大岩地区」が0.6%で最も低くなっています。



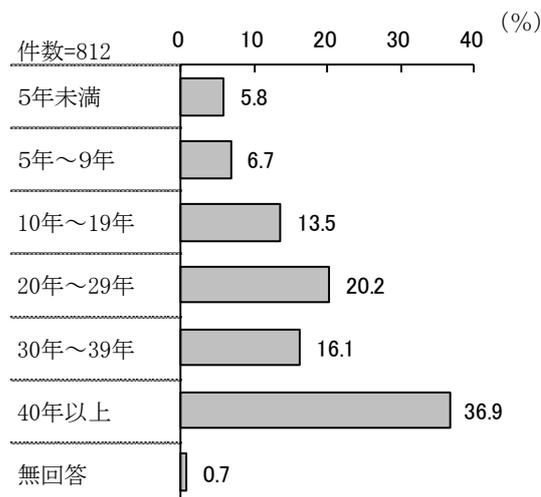
### 1-5 職業

職業は、「会社員」が31.7%で最も高く、次いで「無職」が21.6%、「パート・アルバイト」が17.0%、「公務員・団体職員」が8.6%、「家事専業」が8.5%となっています。



### 1-6 居住年数

居住年数は、「40年以上」が36.9%で最も高く、次いで「20年～29年」が20.2%となっています。



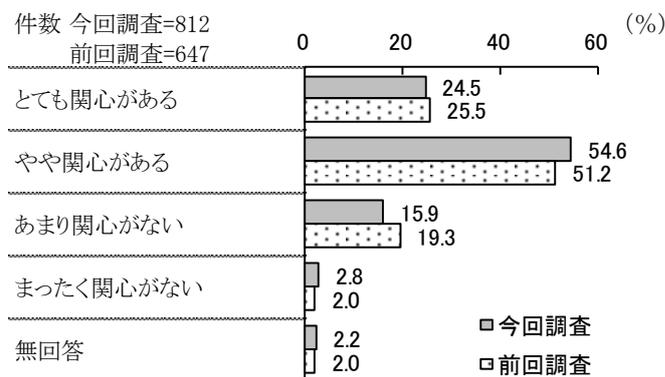
## 2 福祉について

### 2-1 「福祉」についての関心度

問1 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

「福祉」についての関心度は、「やや関心がある」が54.6%で最も高く、『関心がある』(「とても関心がある」「やや関心がある」の計)は79.1%となっています。一方、『関心がない』(「まったく関心がない」「あまり関心がない」の計)は18.7%となっています。

前回調査(平成28年度実施)と比べると、『関心がある』(76.7%→79.1%)は2.4ポイント上昇しています。



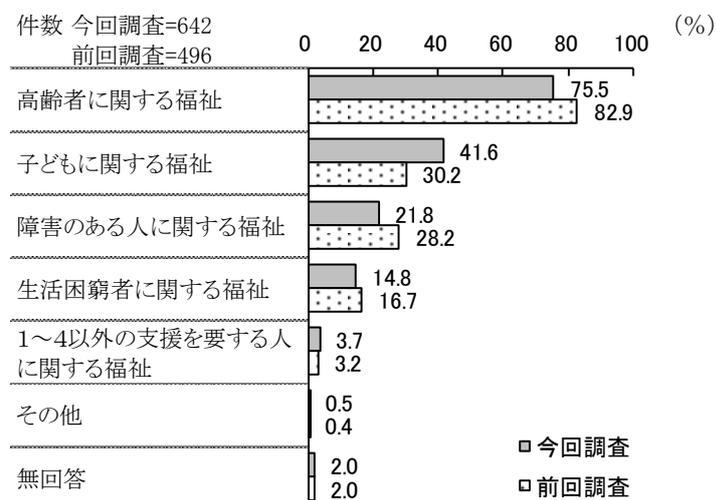
### 2-2 「福祉」について関心のある分野

【問1で「1 とても関心がある」・「2 やや関心がある」と答えた方におうかがいします。】

問1-1 「福祉」のどのような分野に関心がありますか。(○は2つまで)

「福祉」について関心のある分野は、「高齢者に関する福祉」が75.5%で最も高く、次いで「子どもに関する福祉」が41.6%、「障害のある人に関する福祉」が21.8%、「生活困窮者に関する福祉」が14.8%となっています。

前回調査と比べると、「子どもに関する福祉」が11.4ポイント上昇し、「高齢者に関する福祉」は7.4ポイント、「障害のある人に関する福祉」は6.4ポイント、それぞれ低下しています。



性別でみると、「子どもに関する福祉」は女性で男性より 12.5 ポイント高くなっています。  
 年齢別でみると、「高齢者に関する福祉」は 50 歳代以上で高く、「子どもに関する福祉」は 40 歳代以下で高くなっています。

居住年数別でみると、「高齢者に関する福祉」は年数が長いほど割合が概ね高く、「子どもに関する福祉」は年数が短いほど割合が高くなっています。

問 1-1 「福祉」について関心のある分野

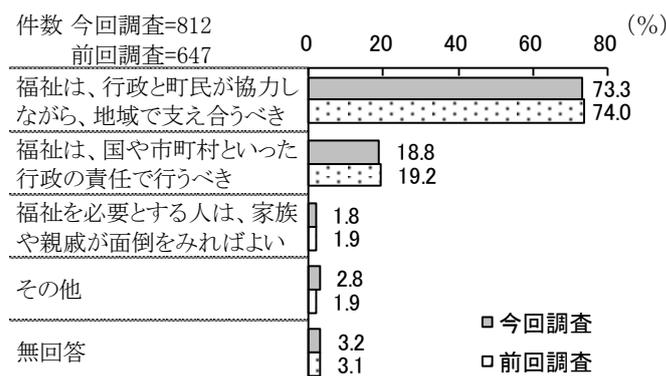
		件数	高齢者に関する福祉	子どもに関する福祉	障害のある人に関する福祉	生活困窮者に関する福祉	1 人以外の人への支援	その他	無回答
上段：件数 下段：%									
全体		642 100.0	485 <b>75.5</b>	267 <b>41.6</b>	140 <b>21.8</b>	95 14.8	24 3.7	3 0.5	13 2.0
性別	男性	263 100.0	207 <b>78.7</b>	90 <b>34.2</b>	54 <b>20.5</b>	45 17.1	8 3.0	1 0.4	6 2.3
	女性	379 100.0	278 <b>73.4</b>	177 <b>46.7</b>	86 <b>22.7</b>	50 13.2	16 4.2	2 0.5	7 1.8
年齢別	19歳以下	10 100.0	2 20.0	6 <b>60.0</b>	3 <b>30.0</b>	3 <b>30.0</b>	1 10.0	-	-
	20歳代	27 100.0	10 <b>37.0</b>	19 <b>70.4</b>	8 <b>29.6</b>	5 18.5	1 3.7	1 3.7	-
	30歳代	51 100.0	25 <b>49.0</b>	40 <b>78.4</b>	11 <b>21.6</b>	4 7.8	2 3.9	-	1 2.0
	40歳代	101 100.0	63 <b>62.4</b>	73 <b>72.3</b>	17 <b>16.8</b>	10 9.9	3 3.0	-	1 1.0
	50歳代	113 100.0	95 <b>84.1</b>	38 <b>33.6</b>	29 <b>25.7</b>	14 12.4	4 3.5	-	5 4.4
	60～64歳	81 100.0	69 <b>85.2</b>	31 <b>38.3</b>	15 <b>18.5</b>	9 11.1	1 1.2	-	3 3.7
	65～69歳	105 100.0	91 <b>86.7</b>	26 <b>24.8</b>	21 <b>20.0</b>	17 16.2	7 6.7	1 1.0	2 1.9
	70歳以上	151 100.0	127 <b>84.1</b>	34 <b>22.5</b>	35 <b>23.2</b>	33 21.9	5 3.3	1 0.7	1 0.7
居住年数別	5年未満	36 100.0	19 <b>52.8</b>	24 <b>66.7</b>	7 <b>19.4</b>	2 5.6	-	1 2.8	-
	5～9年	40 100.0	24 <b>60.0</b>	26 <b>65.0</b>	10 <b>25.0</b>	5 12.5	1 2.5	-	-
	10～19年	84 100.0	48 <b>57.1</b>	50 <b>59.5</b>	19 <b>22.6</b>	11 13.1	5 6.0	-	2 2.4
	20～29年	122 100.0	96 <b>78.7</b>	63 <b>51.6</b>	28 <b>23.0</b>	16 13.1	3 2.5	-	1 0.8
	30～39年	107 100.0	83 <b>77.6</b>	31 <b>29.0</b>	28 <b>26.2</b>	20 18.7	5 4.7	-	4 3.7
	40年以上	252 100.0	214 <b>84.9</b>	72 <b>28.6</b>	48 <b>19.0</b>	41 16.3	10 4.0	2 0.8	6 2.4

## 2-3 「福祉」のあり方についての考え方

問2 「福祉」のあり方は、どのようにあるべきだと思いますか。（○は1つだけ）

「福祉」のあり方についての考え方は、「福祉は、行政と町民が協力しながら、地域で支え合うべき」が73.3%で最も高く、次いで「福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき」が18.8%となっています。

前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

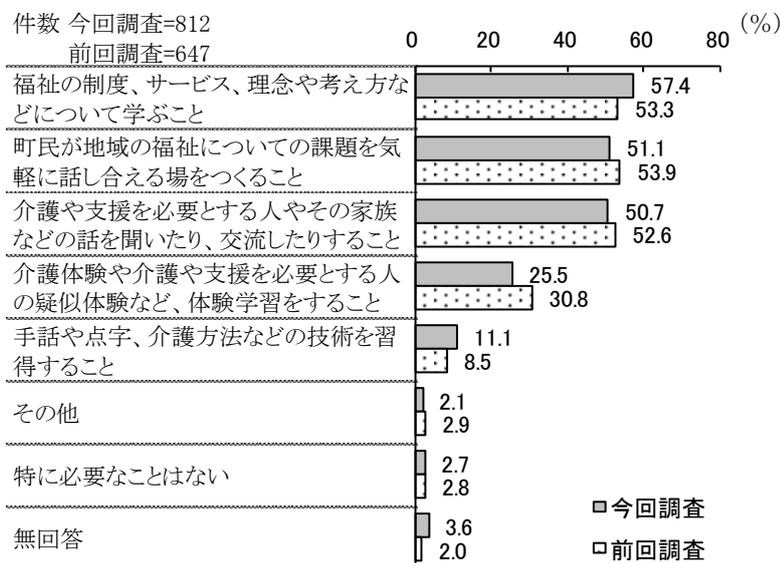


## 2-4 「福祉」について理解を深めるために必要なこと

問3 あなたは、「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。（○は3つまで）

「福祉」について理解を深めるために必要なことは、「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと」が57.4%で最も高く、次いで「町民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」が51.1%、「介護や支援を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること」が50.7%、「介護体験や介護や支援を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること」が25.5%となっています。

前回調査と比べると、「介護体験や介護や支援を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること」が5.3ポイント低下しています。



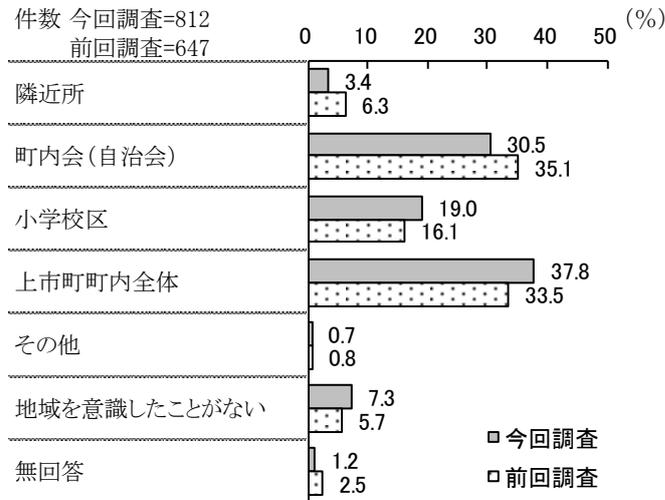
### 3 地域での生活について

#### 3-1 「地域」と考えている範囲

問4 あなたにとっての「地域」とは、どんな範囲のことだと思いますか。（○は1つだけ）

「地域」と考えている範囲は、「上市町町内全体」が37.8%で最も高く、次いで「町内会（自治会）」が30.5%、「小学校区」が19.0%となっています。また、「地域を意識したことがない」は7.3%となっています。

前回調査と比べると、各項目について大きな変化はみられませんが、『小学校区以上の範囲』（「小学校区」「上市町町内全体」の計）（49.6%→56.8%）は7.2ポイント上昇しています。

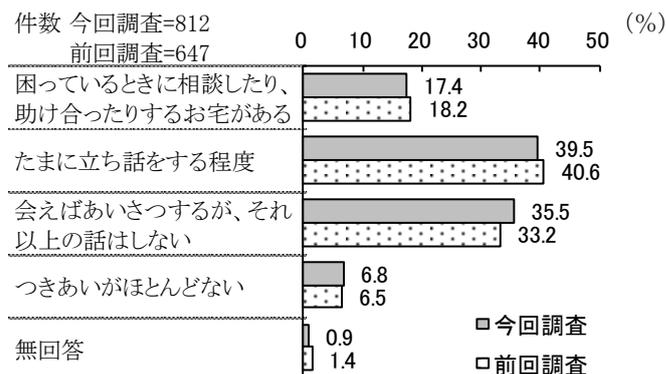


#### 3-2 近所づきあいの程度

問5 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。（○は1つだけ）

近所づきあいの程度は、「たまに立ち話をする程度」が39.5%で最も高く、次いで「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」が35.5%、「困っているときに、相談したり、助け合ったりするお宅がある」が17.4%となっています。また、「つきあいがほとんどない」は6.8%となっています。

前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。



性別でみると、「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」は女性で男性より9.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「困っているときに、相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある」「たまに立ち話をする程度」は年齢が高いほど割合が概ね高く、「会えばあいさつするが、それ以上の話はしない」「つきあいがほとんどない」は年齢が高いほど割合が概ね低くなっており、年齢が高いほど近所づきあいの程度は大きくなっています。

居住年数別でみると、「困っているときに、相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある」は居住年数が長いほど割合が概ね高くなっています。

問5 近所づきあいの程度

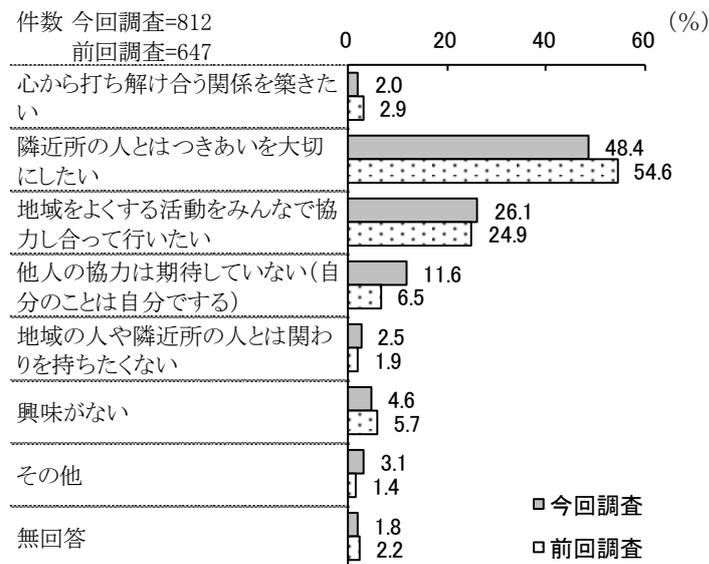
		件数	た り す る お 宅 が あ る	困 っ て い る こ と に あ い さ つ す る	程 度 に あ い さ つ す る	た ま に あ い さ つ す る	し な い こ と は あ い さ つ す る	会 え ば あ い さ つ す る	な い こ と は あ い さ つ す る	無 回 答
		上段：件数 下段：%								
全体		812 100.0	141 <b>17.4</b>	321 <b>39.5</b>	288 <b>35.5</b>	55 6.8	7 0.9			
性別	男性	364 100.0	67 <b>18.4</b>	152 <b>41.8</b>	111 <b>30.5</b>	29 8.0	5 1.4			
	女性	445 100.0	74 <b>16.6</b>	167 <b>37.5</b>	177 <b>39.8</b>	25 5.6	2 0.4			
年齢別	19歳以下	19 100.0	- -	2 <b>10.5</b>	11 <b>57.9</b>	6 <b>31.6</b>	- -			
	20歳代	51 100.0	- -	9 <b>17.6</b>	31 <b>60.8</b>	10 <b>19.6</b>	1 2.0			
	30歳代	79 100.0	6 7.6	16 <b>20.3</b>	46 <b>58.2</b>	11 <b>13.9</b>	- -			
	40歳代	127 100.0	15 <b>11.8</b>	33 <b>26.0</b>	64 <b>50.4</b>	15 <b>11.8</b>	- -			
	50歳代	135 100.0	14 <b>10.4</b>	52 <b>38.5</b>	59 <b>43.7</b>	10 7.4	- -			
	60～64歳	98 100.0	15 <b>15.3</b>	52 <b>53.1</b>	28 <b>28.6</b>	2 2.0	1 1.0			
	65～69歳	120 100.0	28 <b>23.3</b>	64 <b>53.3</b>	27 <b>22.5</b>	- -	1 0.8			
	70歳以上	177 100.0	62 <b>35.0</b>	91 <b>51.4</b>	20 <b>11.3</b>	- -	4 2.3			
居住年数別	5年未満	47 100.0	- -	12 <b>25.5</b>	27 <b>57.4</b>	8 <b>17.0</b>	- -			
	5～9年	54 100.0	5 <b>9.3</b>	19 <b>35.2</b>	26 <b>48.1</b>	4 7.4	- -			
	10～19年	110 100.0	9 8.2	29 <b>26.4</b>	55 <b>50.0</b>	17 <b>15.5</b>	- -			
	20～29年	164 100.0	16 <b>9.8</b>	62 <b>37.8</b>	72 <b>43.9</b>	13 7.9	1 0.6			
	30～39年	131 100.0	27 <b>20.6</b>	51 <b>38.9</b>	46 <b>35.1</b>	6 4.6	1 0.8			
	40年以上	300 100.0	84 <b>28.0</b>	146 <b>48.7</b>	62 <b>20.7</b>	4 1.3	4 1.3			

### 3-3 地域での人とのかかわりについての考え方

問6 地域での人と人とのかかわりについて、あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

地域での人とのかかわりについての考え方は、「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」が48.4%で最も高く、次いで「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」が26.1%、「他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)」が11.6%となっています。

前回調査と比べると、「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」が6.2ポイント低下し、「他人の協力は期待していない(自分のことは自分です)」が5.1ポイント上昇しています。



性別でみると、「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」は女性で男性より8.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「隣近所の人とはつきあいを大切にしたい」は70歳以上(63.3%)で高く、「他人の協力は期待していない(自分のことは自分でする)」は20歳代(25.5%)で高くなっています。また、30歳代以下では「興味がない」が10%以上とやや高くなっています。

居住年数別でみると、「地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい」は5年未満(17.0%)でやや低くなっています。

問6 地域での人とのかかわりについての考え方

	件数	関係から築きた	あ隣近所の大切にし	つを地てみ行いた	とては他人との協力は期待しない(自分のこと)	他人との協力は期待しない	地域の人や隣近所の人とは関係を持ち	興味がない	その他	無回答
	上段:件 下段:%	築きた	あ隣近所の大切にし	つを地てみ行いた	とては他人との協力は期待しない(自分のこと)	他人との協力は期待しない	地域の人や隣近所の人とは関係を持ち	興味がない	その他	無回答
全体	812 100.0	16 2.0	393 <b>48.4</b>	212 <b>26.1</b>	94 <b>11.6</b>	20 2.5	37 4.6	25 3.1	15 1.8	
性別	男性	364 100.0	8 2.2	159 <b>43.7</b>	106 <b>29.1</b>	54 <b>14.8</b>	6 1.6	24 6.6	3 0.8	4 1.1
	女性	445 100.0	8 1.8	233 <b>52.4</b>	106 <b>23.8</b>	39 <b>8.8</b>	14 3.1	12 2.7	22 4.9	11 2.5
年齢別	19歳以下	19 100.0	- -	9 <b>47.4</b>	1 5.3	3 <b>15.8</b>	1 5.3	3 <b>15.8</b>	2 10.5	- -
	20歳代	51 100.0	2 3.9	16 <b>31.4</b>	7 <b>13.7</b>	13 <b>25.5</b>	2 3.9	6 11.8	4 7.8	1 2.0
	30歳代	79 100.0	1 1.3	30 <b>38.0</b>	19 <b>24.1</b>	13 <b>16.5</b>	1 1.3	9 11.4	4 5.1	2 2.5
	40歳代	127 100.0	3 2.4	54 <b>42.5</b>	33 <b>26.0</b>	22 <b>17.3</b>	5 3.9	5 3.9	3 2.4	2 1.6
	50歳代	135 100.0	4 3.0	58 <b>43.0</b>	40 <b>29.6</b>	11 <b>8.1</b>	6 4.4	7 5.2	7 5.2	2 1.5
	60~64歳	98 100.0	- -	52 <b>53.1</b>	31 <b>31.6</b>	8 <b>8.2</b>	- -	3 3.1	2 2.0	2 2.0
	65~69歳	120 100.0	5 4.2	60 <b>50.0</b>	37 <b>30.8</b>	12 <b>10.0</b>	2 1.7	1 0.8	2 1.7	1 0.8
	70歳以上	177 100.0	1 0.6	112 <b>63.3</b>	44 <b>24.9</b>	11 <b>6.2</b>	2 1.1	1 0.6	1 0.6	5 2.8
居住年数別	5年未満	47 100.0	1 2.1	24 <b>51.1</b>	8 <b>17.0</b>	6 <b>12.8</b>	3 6.4	2 4.3	2 4.3	1 2.1
	5~9年	54 100.0	- -	22 <b>40.7</b>	13 <b>24.1</b>	7 <b>13.0</b>	2 3.7	6 11.1	1 1.9	3 5.6
	10~19年	110 100.0	3 2.7	50 <b>45.5</b>	22 <b>20.0</b>	15 <b>13.6</b>	5 4.5	6 5.5	7 6.4	2 1.8
	20~29年	164 100.0	1 0.6	68 <b>41.5</b>	48 <b>29.3</b>	22 <b>13.4</b>	3 1.8	12 7.3	7 4.3	3 1.8
	30~39年	131 100.0	4 3.1	69 <b>52.7</b>	33 <b>25.2</b>	14 <b>10.7</b>	2 1.5	4 3.1	3 2.3	2 1.5
	40年以上	300 100.0	7 2.3	159 <b>53.0</b>	87 <b>29.0</b>	29 <b>9.7</b>	5 1.7	5 1.7	5 1.7	3 1.0

## 4 地域活動やボランティア活動について

### 4-1 地域活動やボランティア活動への参加状況

問7 あなたは現在、町内会（自治会）や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動をしていますか。（○は1つだけ）

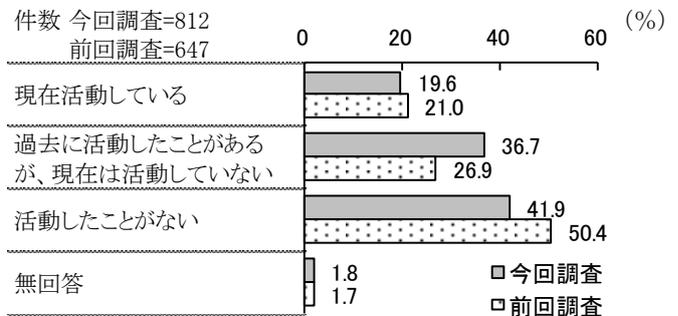
地域活動やボランティア活動への参加状況は、『活動したことがある』（「現在活動している」「過去に活動したことがあるが、現在は活動していない」の計）は56.3%となっています。一方、「活動したことがない」は41.9%となっています。

前回調査と比べると、『活動したことがある』（47.9%→56.3%）は8.4ポイント上昇しています。

性別でみると、「現在活動している」は男性で女性より7.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「現在活動している」は65～69歳（32.5%）で高く、『活動したことがある』は65～69歳（67.5%）、70歳以上（66.1%）でそれぞれ高くなっています。また、「活動したことがない」は20歳代（64.7%）、30歳代（64.6%）でそれぞれ全体平均より20ポイント以上高くなっています。

居住年数別でみると、「現在活動している」は40年以上（28.7%）でやや高く、「活動したことがない」は5年未満（78.7%）、5～9年（51.9%）でそれぞれ高くなっています。



問7 地域活動やボランティア活動への参加状況

	件数	参加状況 (%)			無回答
		現在活動している	過去に活動したことがあるが、現在は活動していない	活動したことがない	
全体	812	19.6	36.7	41.9	1.8
性別	男性	23.4	34.3	40.9	1.4
	女性	16.2	38.9	42.7	2.2
年齢別	19歳以下	-	52.6	47.4	-
	20歳代	2.0	29.4	64.7	3.9
	30歳代	15.2	19.0	64.6	1.3
	40歳代	15.0	37.8	47.2	-
	50歳代	15.6	41.5	41.5	1.5
	60～64歳	20.4	38.8	40.8	-
	65～69歳	32.5	35.0	30.8	1.7
	70歳以上	25.4	40.7	29.4	4.5
居住年数別	5年未満	10.6	10.6	78.7	-
	5～9年	14.8	31.5	51.9	1.9
	10～19年	11.8	41.8	45.5	0.9
	20～29年	12.2	47.6	38.4	1.8
	30～39年	19.1	33.6	46.6	0.8
	40年以上	28.7	36.0	32.7	2.7

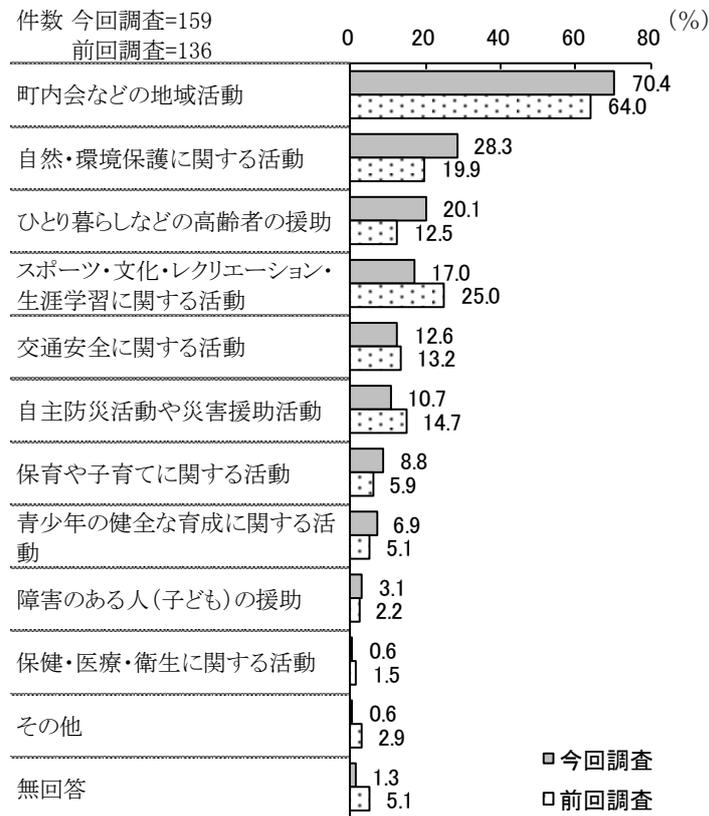
## 4-2 参加している地域活動やボランティア活動

【問7で「1 現在活動している」と答えた方におうかがいします。】

問7-1 あなたが現在参加している地域活動やボランティア活動はどれですか。  
(○は3つまで)

参加している地域活動やボランティア活動は、「町内会などの地域活動」が70.4%で最も高く、次いで「自然・環境保護に関する活動」が28.3%、「ひとり暮らしなどの高齢者の援助」が20.1%、「スポーツ・文化・レクリエーション・生涯学習に関する活動」が17.0%となっています。

前回調査と比べると、「自然・環境保護に関する活動」が8.4ポイント、「ひとり暮らしなどの高齢者の援助」が7.6ポイント、「町内会などの地域活動」が6.4ポイント、それぞれ上昇しています。一方、「スポーツ・文化・レクリエーション・生涯学習に関する活動」が8.0ポイント低下しています。



性別でみると、「町内会などの地域活動」は男性で21.7ポイント、「自然・環境保護に関する活動」は男性で14.5ポイント、「自主防災活動や災害援助活動」は男性で14.8ポイント、それぞれ女性より高くなっています。一方、「ひとり暮らしなどの高齢者の援助」は女性で13.7ポイント、「保育や子育てに関する活動」は女性で11.8ポイント、それぞれ男性より高くなっています。

年齢別でみると、「ひとり暮らしなどの高齢者の援助」は65～69歳（30.8%）、70歳以上（40.0%）でそれぞれ高くなっています。

居住年数別でみると、「自然・環境保護に関する活動」は20～29年（45.0%）で高く、「保育や子育てに関する活動」は30～39年（28.0%）で高くなっています。

問7-1 参加している地域活動やボランティア活動

	件数	町内会などの地域活動	自然・環境保護に関する活動	ひとり暮らしなどの高齢者の援助	生涯学習に関する活動	スポーツ・文化・レクリエーション	交通安全に関する活動	自主防災活動や災害援助活動	保育や子育てに関する活動	青少年の健全な育成に関する活動	障害のある人（子ども）の援助	保健・医療・衛生に関する活動	その他	無回答
全体	159 100.0	112 <b>70.4</b>	45 <b>28.3</b>	32 <b>20.1</b>	27 17.0	20 12.6	17 10.7	14 8.8	11 6.9	5 3.1	1 0.6	1 0.6	2 1.3	
性別	男性	85 100.0	68 <b>80.0</b>	30 <b>35.3</b>	12 14.1	15 <b>17.6</b>	14 16.5	15 <b>17.6</b>	3 3.5	6 7.1	3 3.5	-	2 2.4	
	女性	72 100.0	42 <b>58.3</b>	15 <b>20.8</b>	20 <b>27.8</b>	12 16.7	6 8.3	2 2.8	11 15.3	5 6.9	2 2.8	1 1.4	1 1.4	-
年齢別	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	1 100.0	1 <b>100.0</b>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	12 100.0	10 <b>83.3</b>	2 <b>16.7</b>	-	2 <b>16.7</b>	-	-	2 <b>16.7</b>	1 8.3	-	-	-	
	40歳代	19 100.0	11 <b>57.9</b>	7 <b>36.8</b>	-	4 <b>21.1</b>	1 5.3	2 10.5	2 10.5	4 <b>21.1</b>	-	-	1 5.3	
	50歳代	21 100.0	14 <b>66.7</b>	7 <b>33.3</b>	-	3 14.3	2 9.5	4 <b>19.0</b>	1 4.8	2 9.5	-	-	-	
	60～64歳	20 100.0	15 <b>75.0</b>	4 <b>20.0</b>	2 10.0	4 <b>20.0</b>	1 5.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	-	-	-	
	65～69歳	39 100.0	27 <b>69.2</b>	12 <b>30.8</b>	12 <b>30.8</b>	5 12.8	8 20.5	6 15.4	5 12.8	2 5.1	2 5.1	1 2.6	1 2.6	
	70歳以上	45 100.0	32 <b>71.1</b>	13 <b>28.9</b>	18 <b>40.0</b>	9 20.0	8 17.8	4 8.9	3 6.7	-	3 6.7	-	1 2.2	
居住年数別	5年未満	5 100.0	3 <b>60.0</b>	2 <b>40.0</b>	-	1 20.0	-	-	1 20.0	2 <b>40.0</b>	-	-	-	
	5～9年	8 100.0	7 <b>87.5</b>	2 <b>25.0</b>	1 12.5	3 <b>37.5</b>	1 12.5	-	-	-	-	-		
	10～19年	13 100.0	10 <b>76.9</b>	3 <b>23.1</b>	1 7.7	2 <b>15.4</b>	-	2 <b>15.4</b>	1 7.7	-	1 7.7	-	1 7.7	
	20～29年	20 100.0	11 <b>55.0</b>	9 <b>45.0</b>	1 5.0	2 10.0	3 <b>15.0</b>	1 5.0	1 5.0	2 10.0	-	-	-	
	30～39年	25 100.0	14 <b>56.0</b>	7 <b>28.0</b>	6 24.0	5 20.0	-	2 8.0	7 <b>28.0</b>	2 8.0	1 4.0	-	-	
	40年以上	86 100.0	65 <b>75.6</b>	22 <b>25.6</b>	23 <b>26.7</b>	14 16.3	16 18.6	12 14.0	4 4.7	5 5.8	3 3.5	1 1.2	1 1.2	1 1.2

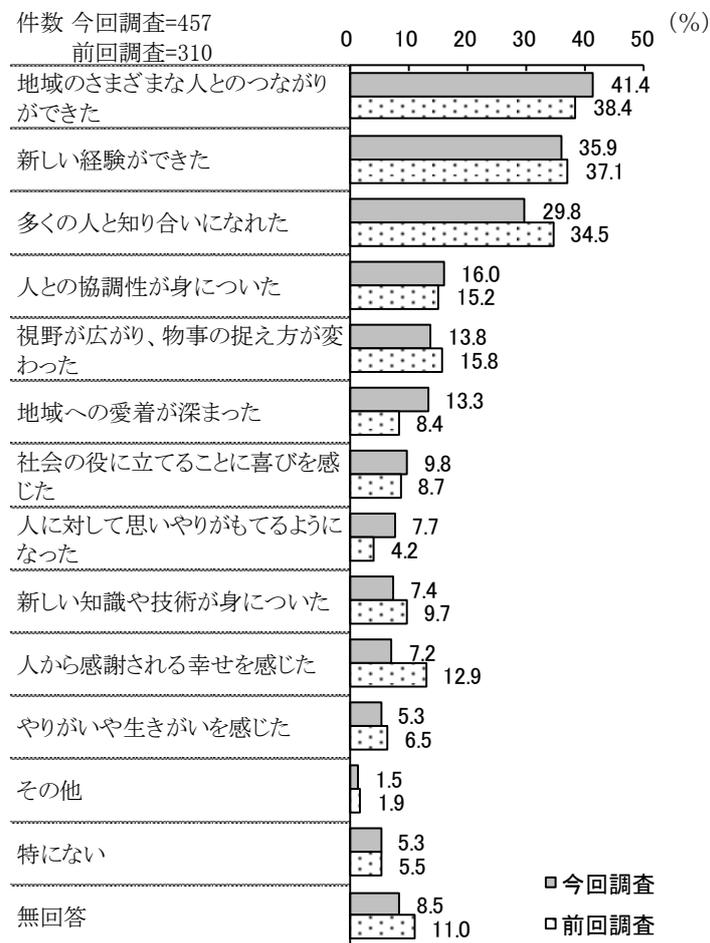
### 4-3 地域活動やボランティア活動に参加してよかったこと

【問7で「1 現在活動している」・「2 過去に活動したことがあるが、現在は活動していない」と答えた方におうかがいします。】

問7-2 地域活動やボランティア活動に参加して、よかった点はどのようなことですか。(〇は3つまで)

地域活動やボランティア活動に参加してよかったことは、「地域のさまざまな人とのつながりができた」が41.4%で最も高く、次いで「新しい経験ができた」が35.9%、「多くの人と知り合いになれた」が29.8%、「人との協調性が身についた」が16.0%となっています。

前回調査と比べると、「地域への愛着が深まった」が4.9ポイント上昇し、「人から感謝される幸せを感じた」が5.7ポイント低下しています。



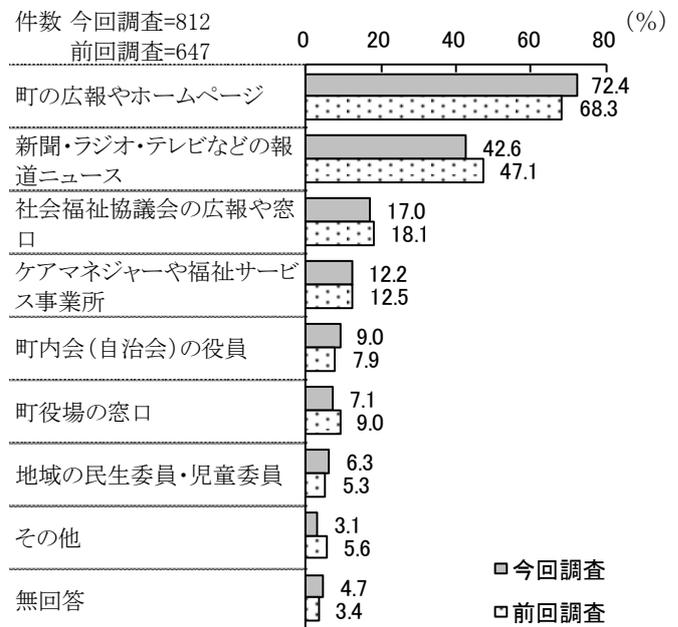
## 5 福祉サービスについて

### 5-1 「福祉サービス」に関する情報の入手方法

問8 あなたは、現在「福祉サービス」に関する情報はどこから入手していますか。  
(○は3つまで)

「福祉サービス」に関する情報の入手方法は、「町の広報やホームページ」が72.4%で最も高く、次いで「新聞・ラジオ・テレビなどの報道ニュース」が42.6%、「社会福祉協議会の広報や窓口」が17.0%、「ケアマネジャーや福祉サービス事業所」が12.2%となっています。

前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。

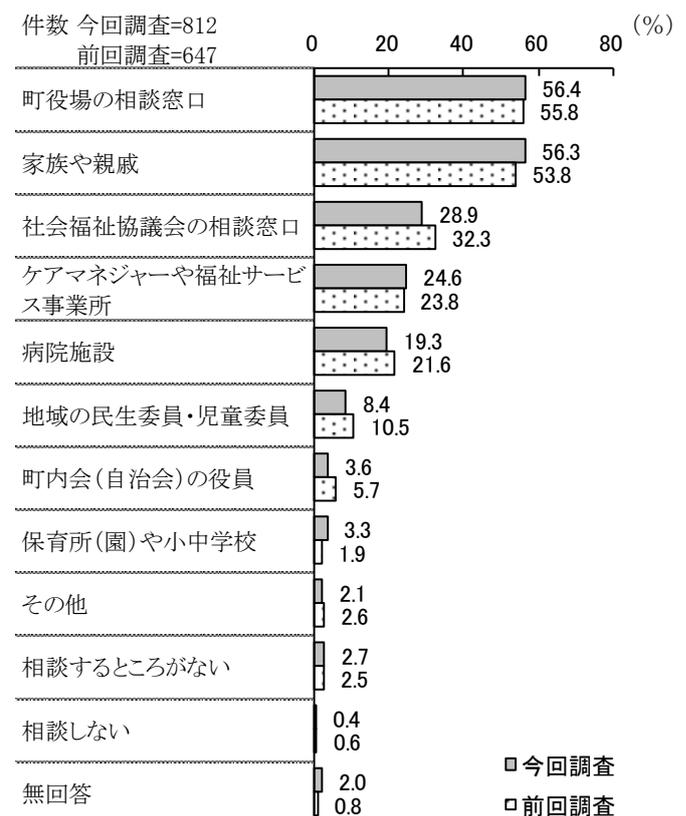


### 5-2 福祉サービスが必要になったときの相談相手

問9 あなた自身や家族が、生活上の困りごとを抱えたときや福祉サービスの利用が必要になったとき、どこ(誰)に相談しますか。(○は3つまで)

福祉サービスが必要になったときの相談相手は、「町役場の相談窓口」が56.4%で最も高く、ほぼ同率で「家族や親戚」が56.3%となっています。これらに次いで「社会福祉協議会の相談窓口」が28.9%、「ケアマネジャーや福祉サービス事業所」が24.6%、「病院施設」が19.3%となっています。

前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。



性別でみると、「家族や親戚」は女性で男性より 8.2 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「家族や親戚」は 19 歳以下 (94.7%)、30 歳代 (67.1%) で、「社会福祉協議会の相談窓口」は 60～64 歳 (42.9%)、70 歳以上 (42.9%) で、「ケアマネジャーや福祉サービス事業所」は 60～64 歳 (38.8%) で、それぞれ高くなっています。

居住年数別でみると、「保育所（園）や小中学校」は 5～9 年 (14.8%) で高くなっています。

問 9 福祉サービスが必要になったときの相談相手

		件数	町役場の相談窓口	家族や親戚	社会福祉協議会の相談窓口	福祉サービス事業所	ケアマネジャーや福祉サービス事業所	病院施設	地域の民生委員・児童委員	町内会（自治会）の役員	中学校	保育所（園）や小	その他	相談するところがない	相談しない	無回答
全体		812 100.0	458 <b>56.4</b>	457 <b>56.3</b>	235 <b>28.9</b>	200 24.6	157 19.3	68 8.4	29 3.6	27 3.3	17 2.1	22 2.7	3 0.4	16 2.0		
性別	男性	364 100.0	211 <b>58.0</b>	188 <b>51.6</b>	104 <b>28.6</b>	77 21.2	66 18.1	39 10.7	21 5.8	7 1.9	6 1.6	11 3.0	3 0.8	10 2.7		
	女性	445 100.0	247 <b>55.5</b>	266 <b>59.8</b>	130 <b>29.2</b>	123 27.6	91 20.4	29 6.5	8 1.8	20 4.5	11 2.5	11 2.5	-	6 1.3		
年齢別	19歳以下	19 100.0	6 <b>31.6</b>	18 <b>94.7</b>	1 5.3	-	3 <b>15.8</b>	-	-	-	-	-	-	-		
	20歳代	51 100.0	30 <b>58.8</b>	30 <b>58.8</b>	9 17.6	4 7.8	10 <b>19.6</b>	1 2.0	-	2 3.9	2 3.9	4 7.8	-	1 2.0		
	30歳代	79 100.0	46 <b>58.2</b>	53 <b>67.1</b>	8 10.1	12 15.2	21 <b>26.6</b>	4 5.1	2 2.5	8 10.1	3 3.8	2 2.5	1 1.3	1 1.3		
	40歳代	127 100.0	81 <b>63.8</b>	79 <b>62.2</b>	30 <b>23.6</b>	29 22.8	30 <b>23.6</b>	5 3.9	1 0.8	14 11.0	1 0.8	3 2.4	1 0.8	1 0.8		
	50歳代	135 100.0	85 <b>63.0</b>	68 <b>50.4</b>	26 19.3	41 <b>30.4</b>	31 23.0	6 4.4	3 2.2	2 1.5	4 3.0	6 4.4	-	2 1.5		
	60～64歳	98 100.0	54 <b>55.1</b>	44 <b>44.9</b>	42 <b>42.9</b>	38 38.8	22 22.4	8 8.2	4 4.1	-	2 2.0	2 2.0	-	1 1.0		
	65～69歳	120 100.0	66 <b>55.0</b>	63 <b>52.5</b>	42 <b>35.0</b>	37 30.8	16 13.3	15 12.5	6 5.0	1 0.8	1 0.8	2 1.7	-	2 1.7		
	70歳以上	177 100.0	89 <b>50.3</b>	97 <b>54.8</b>	76 <b>42.9</b>	38 21.5	23 13.0	29 16.4	13 7.3	-	4 2.3	3 1.7	1 0.6	8 4.5		
居住年数別	5年未満	47 100.0	29 <b>61.7</b>	23 <b>48.9</b>	9 <b>19.1</b>	8 17.0	8 17.0	1 2.1	3 6.4	4 8.5	1 2.1	3 6.4	-	1 2.1		
	5～9年	54 100.0	30 <b>55.6</b>	34 <b>63.0</b>	9 16.7	7 13.0	11 <b>20.4</b>	3 5.6	2 3.7	8 14.8	-	1 1.9	-	2 3.7		
	10～19年	110 100.0	69 <b>62.7</b>	70 <b>63.6</b>	27 <b>24.5</b>	18 16.4	24 21.8	3 2.7	-	11 10.0	1 0.9	2 1.8	1 0.9	-		
	20～29年	164 100.0	103 <b>62.8</b>	85 <b>51.8</b>	51 <b>31.1</b>	42 25.6	43 26.2	8 4.9	2 1.2	-	5 3.0	7 4.3	-	1 0.6		
	30～39年	131 100.0	69 <b>52.7</b>	67 <b>51.1</b>	34 <b>29.8</b>	39 15.3	20 15.3	16 12.2	3 2.3	3 2.3	3 2.3	3 2.3	1 0.8	5 3.8		
	40年以上	300 100.0	157 <b>52.3</b>	175 <b>58.3</b>	104 <b>34.7</b>	86 28.7	51 17.0	37 12.3	19 6.3	1 0.3	7 2.3	5 1.7	1 0.3	6 2.0		

## 6 成年後見制度について

### 6-1 成年後見制度の認知度等

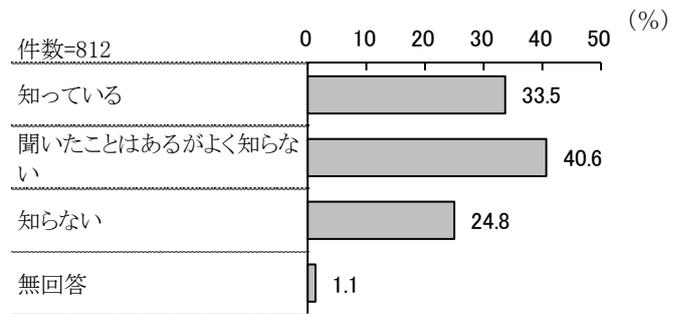
問10 あなたは、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方に代わって、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人などが財産管理や福祉サービスなどの契約を行う成年後見制度を知っていますか。(〇は1つだけ)

成年後見制度については、「聞いたことはあるがよく知らない」が40.6%で最も高く、認知度(「知っている」)は33.5%、『知名度』(「知っている」「聞いたことはあるがよく知らない」の計)は74.1%となっています。一方、「知らない」は24.8%となっています。

性別で見ると、認知度は女性で男性より8.0ポイント高く、『知名度』は男性で72.0%、女性で76.0%となっています。

年齢別で見ると、認知度は70歳以上(43.5%)で高く、『知名度』も70歳以上(86.4%)で高くなっています。また、「知らない」は年齢が低いほど割合が概ね高く、19歳以下(63.2%)で6割以上、20歳代(51.0%)で約5割、30歳代(41.8%)で約4割とそれぞれ高くなっています。

居住年数別で見ると、「知らない」は10～19年(37.3%)、5年未満(36.2%)でそれぞれ高くなっています。



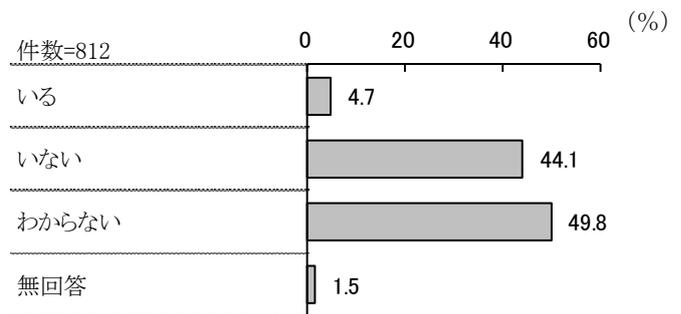
問10 成年後見制度の認知度

	件数	認知度 (%)			無回答 (%)
		知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない	
全体	812	33.5	40.6	24.8	1.1
性別	男性	29.1	42.9	26.6	1.4
	女性	37.1	38.9	23.1	0.9
年齢別	19歳以下	15.8	21.1	63.2	-
	20歳代	21.6	25.5	51.0	2.0
	30歳代	26.6	31.6	41.8	-
	40歳代	35.4	31.5	33.1	-
	50歳代	28.1	51.1	20.0	0.7
	60～64歳	30.6	46.9	21.4	1.0
	65～69歳	37.5	45.8	15.8	0.8
	70歳以上	43.5	42.9	10.7	2.8
居住年数別	5年未満	31.9	31.9	36.2	-
	5～9年	33.3	33.3	33.3	-
	10～19年	35.5	27.3	37.3	-
	20～29年	31.7	43.9	23.8	0.6
	30～39年	26.0	45.8	27.5	0.8
	40年以上	37.7	44.3	16.0	2.0

## 6-2 まわりで成年後見制度を利用している人の有無

問 11 あなたのまわりで、成年後見制度を利用している方はいますか。(○は1つだけ)

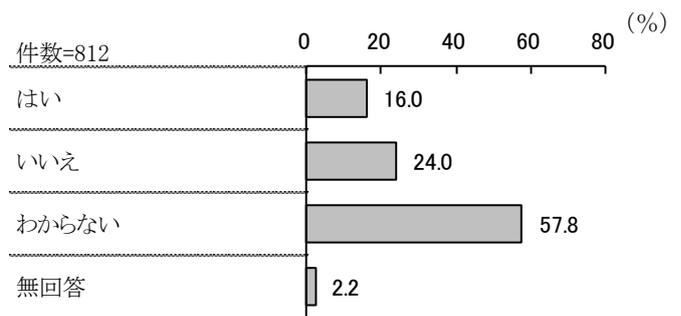
まわりで成年後見制度を利用している人の有無は、「わからない」が49.8%で最も高く、「いる」は4.7%、「いない」は44.1%となっています。



## 6-3 成年後見制度の利用意向

問 12 あなたは財産の管理や契約などについて、自分ひとりで判断することが難しくなった場合に「成年後見制度」を利用してみたいですか。(○は1つだけ)

成年後見制度の利用意向は、「わからない」が57.8%で最も高く、「はい」(利用したい)は16.0%、「いいえ」(利用したくない)は24.0%となっています。



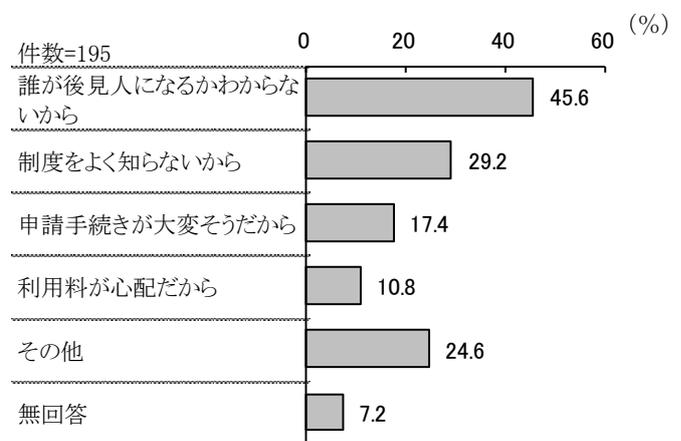
## 6-4 成年後見制度を利用したくない理由

【問 12 で「2 いいえ」と答えた方におうかがいします。】

問 13 その理由をお答えください。(○はいくつでも)

成年後見制度を利用したくない理由は、「誰が後見人になるかわからないから」が45.6%で最も高く、次いで「制度をよく知らないから」が29.2%となっています。

また、「その他」(24.6%)の内訳をみると、「家族がいるから」という意見が多くなっています。



性別でみると、「申請手続きが大変そうだから」は女性で男性より11.1ポイント高く、「制度をよく知らないから」は男性で女性より8.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「誰が後見人になるかわからないから」は50歳代(60.9%)で高くなっています。

居住年数別でみると、「制度をよく知らないから」は10～19年(40.0%)で高く、「利用料が心配だから」も10～19年(33.3%)で高くなっています。

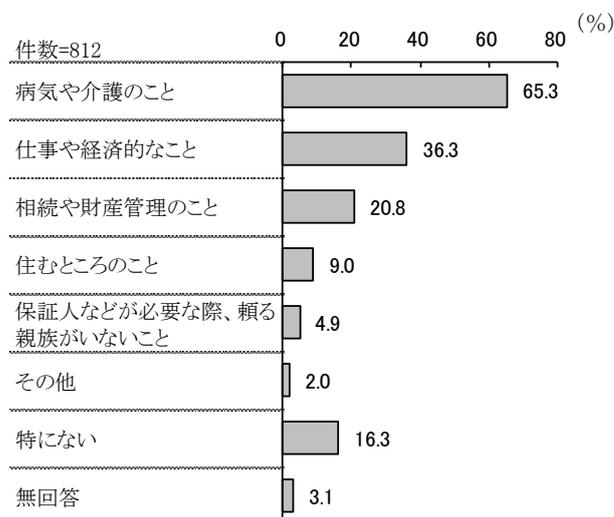
問13 成年後見制度を利用したくない理由

		件数	誰が後見人になるかわからない	制度をよく知らない	申請手続きが大変そうだから	利用料が心配だから	その他	無回答
上段：件数 下段：%								
全体		195 100.0	89 <b>45.6</b>	57 <b>29.2</b>	34 17.4	21 10.8	48 <b>24.6</b>	14 7.2
性別	男性	82 100.0	37 <b>45.1</b>	28 <b>34.1</b>	9 11.0	6 7.3	18 <b>22.0</b>	4 4.9
	女性	113 100.0	52 <b>46.0</b>	29 <b>25.7</b>	25 22.1	15 13.3	30 <b>26.5</b>	10 8.8
年齢別	19歳以下	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	20歳代	4 100.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -
	30歳代	8 100.0	4 50.0	6 75.0	1 12.5	- -	- -	- -
	40歳代	22 100.0	7 <b>31.8</b>	2 9.1	5 <b>22.7</b>	3 13.6	7 <b>31.8</b>	4 18.2
	50歳代	23 100.0	14 <b>60.9</b>	5 <b>21.7</b>	5 <b>21.7</b>	4 17.4	3 13.0	- -
	60～64歳	21 100.0	7 <b>33.3</b>	7 <b>33.3</b>	4 19.0	1 4.8	6 <b>28.6</b>	1 4.8
	65～69歳	48 100.0	20 <b>41.7</b>	18 <b>37.5</b>	7 14.6	5 10.4	14 <b>29.2</b>	3 6.3
	70歳以上	69 100.0	34 <b>49.3</b>	17 <b>24.6</b>	11 15.9	6 8.7	18 <b>26.1</b>	6 8.7
居住年数別	5年未満	4 100.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -
	5～9年	8 100.0	4 50.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	- -
	10～19年	15 100.0	4 <b>26.7</b>	6 <b>40.0</b>	4 <b>26.7</b>	5 <b>33.3</b>	3 20.0	1 6.7
	20～29年	35 100.0	14 <b>40.0</b>	7 <b>20.0</b>	8 <b>22.9</b>	3 8.6	7 <b>20.0</b>	6 17.1
	30～39年	31 100.0	17 <b>54.8</b>	9 <b>29.0</b>	2 6.5	1 3.2	10 <b>32.3</b>	- -
	40年以上	102 100.0	47 <b>46.1</b>	30 <b>29.4</b>	16 15.7	8 7.8	26 <b>25.5</b>	7 6.9

### 6-5 将来に向けての心配ごとや困りごと

問14 あなたは将来に向けて心配ごとや困りごとがありますか。(○はい/△はい/×はい/□はい/◇はい/○はい/△はい/×はい/□はい/◇はい)

将来に向けての心配ごとや困りごとは、「病気や介護のこと」が65.3%で最も高く、次いで「仕事や経済的なこと」が36.3%、「相続や財産管理のこと」が20.8%となっています。また、「特にない」が16.3%となっています。

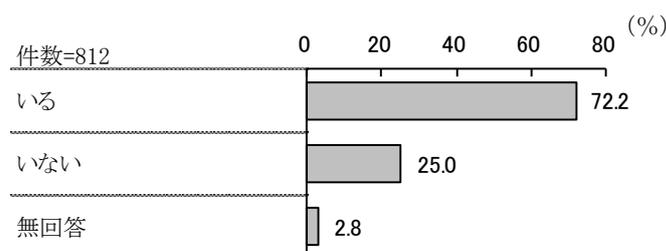


## 7 防災について

### 7-1 災害時に避難する際、手助けをお願いできる人の有無

問 15 あなたは、台風などの災害時に避難する際、手助けをお願いできる人（家族や近所の人など）がいますか。（○は1つだけ）

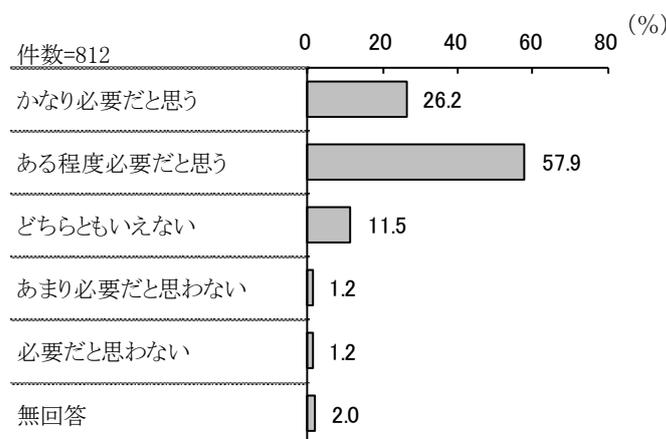
災害時に避難する際、手助けをお願いできる人の有無は、「いる」が72.2%、「いない」が25.0%となっています。



### 7-2 大規模災害等の備えに地域で個人情報を共有することの必要性

問 16 大規模災害などの備えとして、避難行動要支援者登録制度などのように、地域で個人情報を共有することについて、どう思いますか。（○は1つだけ）

大規模災害等の備えに地域で個人情報を共有することの必要性は、「ある程度必要だと思う」が57.9%で最も高く、『必要だと思う』（「かなり必要だと思う」「ある程度必要だと思う」の計）は84.1%となっています。一方、『必要だと思わない』（「必要だと思わない」「あまり必要だと思わない」の計）は2.4%となっています。

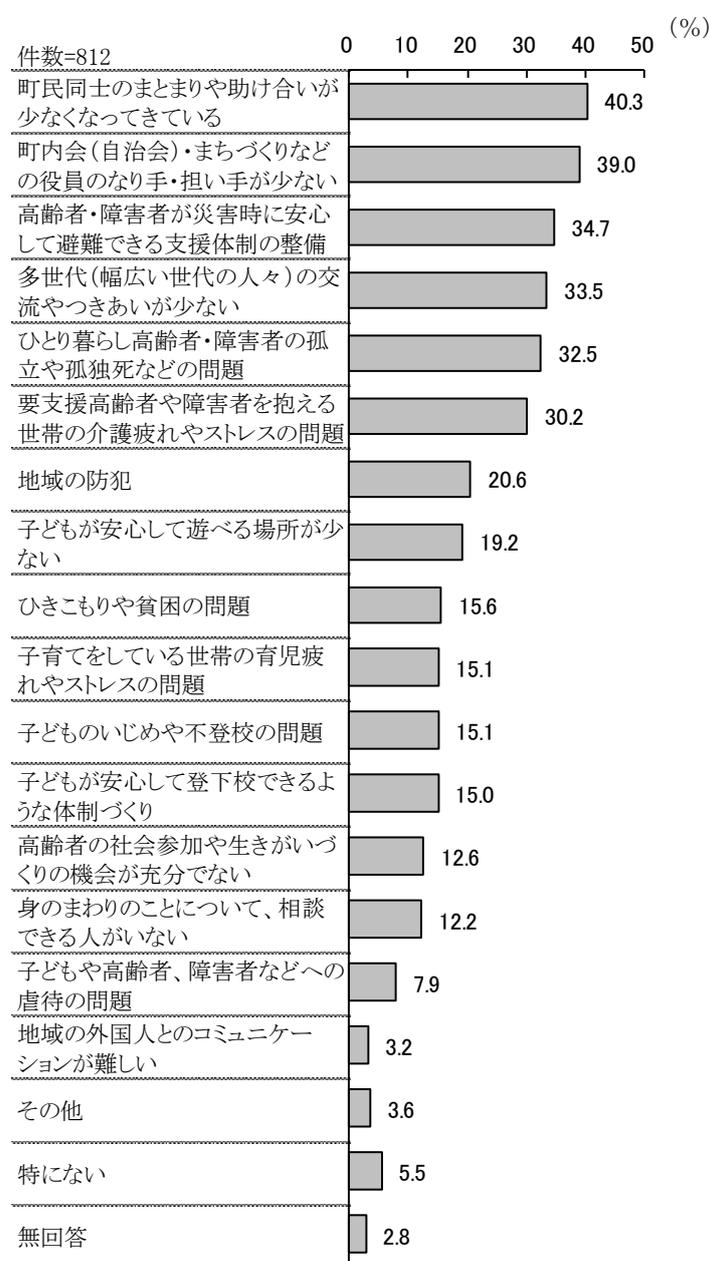


## 8 これからの福祉について

### 8-1 居住地域の福祉に関する課題や問題

問 17 あなたの住んでいる地域で、福祉に関し、どのような課題や問題があると思いますか。  
(〇はいくつでも)

居住地域の福祉に関する課題や問題は、「町民同士のまとまりや助け合いが少なくなっている」が40.3%で最も高く、次いで「町内会（自治会）・まちづくりなどの役員のなり手・担い手が少ない」が39.0%、「高齢者・障害者が災害時に安心して避難できる支援体制の整備」が34.7%、「多世代（幅広い世代の人々）の交流やつきあいが少ない」が33.5%、「ひとり暮らし高齢者・障害者の孤立や孤独死などの問題」が32.5%となっています。

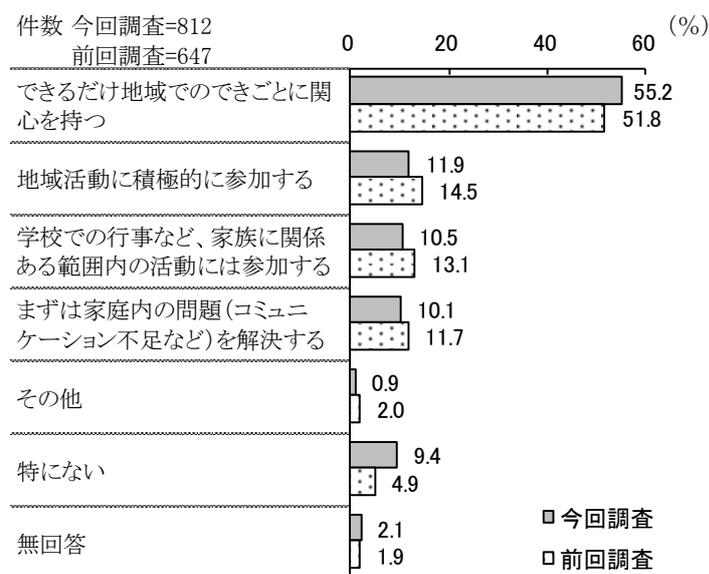


## 8-2 安心して地域で暮らしていくために町民としてできること

問 18 私たちひとりひとりが安心して地域の中で暮らしていくために、町民のひとりとしてあなたができることはどんなことがあるとお考えですか。(○は1つだけ)

安心して地域で暮らしていくために町民としてできることは、「できるだけ地域でのできごとに関心を持つ」が 55.2%で最も高く、次いで「地域活動に積極的に参加する」が 11.9%、「学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する」が 10.5%、「まずは家庭内の問題(コミュニケーション不足など)を解決する」が 10.1%となっています。

前回調査と比べると、大きな変化はみられませんでした。



性別でみると、「できるだけ地域でのできごとに関心を持つ」は女性で男性より9.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「できるだけ地域でのできごとに関心を持つ」は19歳以下(68.4%)、60～64歳(65.3%)でそれぞれ高く、「学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する」は30歳代(31.6%)、40歳代(23.6%)でそれぞれ高くなっています。

居住年数別でみると、「学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する」は5～9年(33.3%)、5年未満(27.7%)でそれぞれ高くなっています。また、「できるだけ地域でのできごとに関心を持つ」は5～9年(35.2%)、5年未満(38.3%)でそれぞれ低くなっています。

問18 安心して地域で暮らしていくために町民としてできること

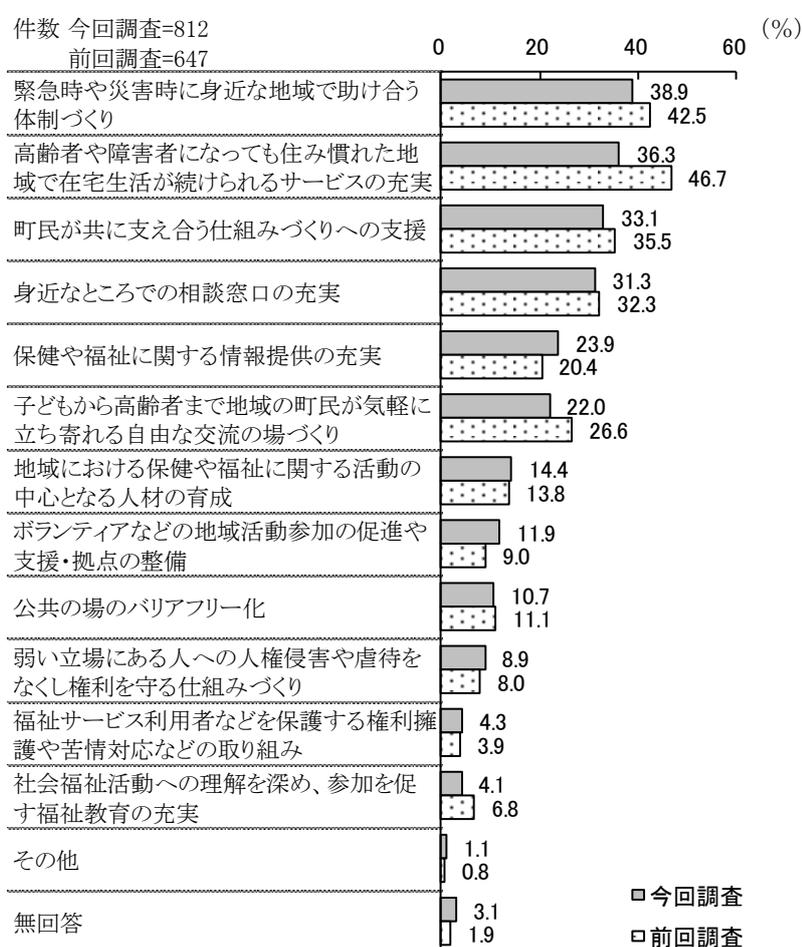
	件数	できるだけ地域でのできごとに関心を持つ	地域活動に積極的に参加する	家族関係にある範囲内の活動に参加する	学校での行事など、家庭内の問題を解決する	その他	特にない	無回答	
									上段：件数 下段：%
全体	812 100.0	448 <b>55.2</b>	97 <b>11.9</b>	85 <b>10.5</b>	82 10.1	7 0.9	76 9.4	17 2.1	
性別	男性	364 100.0	182 <b>50.0</b>	58 <b>15.9</b>	26 7.1	41 11.3	1 0.3	48 <b>13.2</b>	8 2.2
	女性	445 100.0	264 <b>59.3</b>	39 8.8	59 <b>13.3</b>	41 <b>9.2</b>	6 1.3	27 6.1	9 2.0
年齢別	19歳以下	19 100.0	13 <b>68.4</b>	-	3 <b>15.8</b>	2 <b>10.5</b>	-	1 5.3	-
	20歳代	51 100.0	28 <b>54.9</b>	1 2.0	7 <b>13.7</b>	7 <b>13.7</b>	-	7 <b>13.7</b>	1 2.0
	30歳代	79 100.0	27 <b>34.2</b>	6 7.6	25 <b>31.6</b>	12 <b>15.2</b>	-	7 8.9	2 2.5
	40歳代	127 100.0	63 <b>49.6</b>	11 8.7	30 <b>23.6</b>	10 7.9	1 0.8	12 <b>9.4</b>	-
	50歳代	135 100.0	76 <b>56.3</b>	18 <b>13.3</b>	9 6.7	13 <b>9.6</b>	3 2.2	13 <b>9.6</b>	3 2.2
	60～64歳	98 100.0	64 <b>65.3</b>	11 <b>11.2</b>	5 5.1	11 <b>11.2</b>	1 1.0	6 6.1	-
	65～69歳	120 100.0	64 <b>53.3</b>	23 <b>19.2</b>	5 4.2	13 <b>10.8</b>	2 1.7	10 8.3	3 2.5
	70歳以上	177 100.0	110 <b>62.1</b>	26 <b>14.7</b>	1 0.6	14 7.9	-	18 <b>10.2</b>	8 4.5
居住年数別	5年未満	47 100.0	18 <b>38.3</b>	4 8.5	13 <b>27.7</b>	6 <b>12.8</b>	1 2.1	4 8.5	1 2.1
	5～9年	54 100.0	19 <b>35.2</b>	4 7.4	18 <b>33.3</b>	8 <b>14.8</b>	-	5 9.3	-
	10～19年	110 100.0	69 <b>62.7</b>	3 2.7	19 <b>17.3</b>	7 6.4	1 0.9	10 <b>9.1</b>	1 0.9
	20～29年	164 100.0	88 <b>53.7</b>	17 10.4	18 <b>11.0</b>	17 10.4	3 1.8	19 <b>11.6</b>	2 1.2
	30～39年	131 100.0	71 <b>54.2</b>	20 <b>15.3</b>	4 3.1	21 <b>16.0</b>	-	10 7.6	5 3.8
	40年以上	300 100.0	180 <b>60.0</b>	49 <b>16.3</b>	13 4.3	23 7.7	2 0.7	26 <b>8.7</b>	7 2.3

### 8-3 大切だと思う地域福祉のあり方

問 19 地域に住む人々が、互いを認め合いながら、自分らしく幸せに生きる（地域福祉）ためには、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。（○は3つまで）

大切だと思う地域福祉のあり方は、「緊急時や災害時に身近な地域で助け合う体制づくり」が 38.9%で最も高く、次いで「高齢者や障害者になっても住み慣れた地域で在宅生活が続けられるサービスの充実」が 36.3%、「町民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」が 33.1%、「身近なところでの相談窓口の充実」が 31.3%となっています。

前回調査と比べると、「高齢者や障害者になっても住み慣れた地域で在宅生活が続けられるサービスの充実」が 10.4 ポイント低下しています。



性別でみると、「保健や福祉に関する情報提供の充実」は女性で男性より8.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「高齢者や障害者になっても住み慣れた地域で在宅生活が続けられるサービスの充実」は70歳以上(55.4%)で高く、「公共の場のバリアフリー化」「弱い立場にある人への人権侵害や虐待をなくし権利を守る仕組みづくり」は19歳以下でそれぞれ高くなっています。

居住年数別でみると、「高齢者や障害者になっても住み慣れた地域で在宅生活が続けられるサービスの充実」は40年以上(46.7%)で高くなっています。また、「身近なところでの相談窓口の充実」は年数が短いほど割合が概ね高く、5年未満(44.7%)で4割以上と高くなっています。

問19 大切だと思う地域福祉のあり方

	件数	緊急時や災害時に身近な地域	けみ慣れた地域で在宅生活が続	高齢者や障害者になっても住	く町民が共に支え合う仕組みづ	身近なところでの相談窓口の	保健や福祉に関する情報提供	な町民が気軽に立ち寄れる自由	子どもから高齢者まで地域の	育成活動の中心となる人材に関	地域の活動における保健や福祉	備加の促進や支援・拠点の整	ポランティアなどの地域活動	公共の場のバリアフリー化	仕組みづくり	弱い立場にある人への人権侵	どの取り組み	護する権利擁護や苦情対応な	福祉サービスの利用者などを保	実、参加を促す福祉教育を深	社会福祉活動への理解を深	その他	無回答
全体	812 100.0	316 <b>38.9</b>	295 <b>36.3</b>	269 <b>33.1</b>	254 31.3	194 23.9	179 22.0	117 14.4	97 11.9	87 10.7	72 8.9	35 4.3	33 4.1	9 1.1	25 3.1								
性別	男性	364 100.0	140 <b>38.5</b>	128 <b>35.2</b>	127 <b>34.9</b>	107 29.4	69 19.0	67 18.4	64 17.6	56 15.4	25 6.9	17 4.7	16 4.4	5 1.4	13 3.6								
	女性	445 100.0	176 <b>39.6</b>	165 <b>37.1</b>	142 31.9	147 <b>33.0</b>	124 27.9	112 25.2	53 11.9	41 9.2	62 13.9	38 8.5	17 3.8	17 3.8	4 0.9	12 2.7							
年齢別	19歳以下	19 100.0	5 <b>26.3</b>	6 <b>31.6</b>	8 <b>42.1</b>	3 15.8	2 10.5	5 <b>26.3</b>	4 21.1	3 15.8	5 <b>26.3</b>	4 21.1	1 5.3	1 5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	51 100.0	23 <b>45.1</b>	8 15.7	14 27.5	18 <b>35.3</b>	14 27.5	15 <b>29.4</b>	9 17.6	4 7.8	9 17.6	5 9.8	-	3 5.9	1 2.0	1 2.0							
	30歳代	79 100.0	31 <b>39.2</b>	14 17.7	24 <b>30.4</b>	32 <b>40.5</b>	22 27.8	14 17.7	13 16.5	10 12.7	15 19.0	8 10.1	1 1.3	2 2.5	2 2.5	3 3.8							
	40歳代	127 100.0	50 <b>39.4</b>	30 23.6	43 <b>33.9</b>	49 <b>38.6</b>	38 29.9	25 19.7	19 15.0	10 7.9	16 12.6	16 12.6	3 2.4	6 4.7	1 0.8	1 0.8							
	50歳代	135 100.0	48 <b>35.6</b>	53 <b>39.3</b>	40 29.6	51 <b>37.8</b>	34 25.2	28 20.7	19 14.1	24 17.8	10 7.4	11 8.1	3 2.2	4 3.0	1 0.7	3 2.2							
	60～64歳	98 100.0	39 <b>39.8</b>	39 <b>39.8</b>	40 <b>40.8</b>	24 24.5	28 28.6	30 30.6	12 12.2	13 13.3	8 8.2	4 4.1	6 6.1	2 2.0	-	1 1.0							
	65～69歳	120 100.0	40 <b>33.3</b>	44 <b>36.7</b>	41 <b>34.2</b>	38 31.7	26 21.7	23 19.2	17 14.2	17 14.2	13 10.8	14 11.7	11 9.2	6 5.0	2 1.7	6 5.0							
	70歳以上	177 100.0	79 <b>44.6</b>	98 <b>55.4</b>	58 <b>32.8</b>	39 22.0	28 15.8	39 22.0	24 13.6	16 9.0	11 6.2	9 5.1	8 4.5	9 5.1	2 1.1	10 5.6							
居住年数別	5年未満	47 100.0	18 <b>38.3</b>	11 23.4	12 25.5	21 <b>44.7</b>	13 <b>27.7</b>	12 25.5	2 4.3	7 14.9	7 14.9	7 14.9	-	1 2.1	1 2.1								
	5～9年	54 100.0	26 <b>48.1</b>	12 22.2	18 <b>33.3</b>	19 <b>35.2</b>	16 29.6	11 20.4	7 13.0	4 7.4	10 18.5	5 9.3	2 3.7	-	3 5.6								
	10～19年	110 100.0	36 <b>32.7</b>	36 <b>32.7</b>	36 <b>32.7</b>	39 <b>35.5</b>	28 25.5	22 20.0	24 21.8	11 10.0	13 11.8	11 10.0	3 2.7	4 3.6	2 1.8	2 1.8							
	20～29年	164 100.0	60 <b>36.6</b>	52 31.7	60 <b>36.6</b>	55 <b>33.5</b>	44 26.8	45 27.4	17 10.4	16 9.8	16 9.8	17 10.4	5 3.0	5 3.0	2 1.2	4 2.4							
	30～39年	131 100.0	55 <b>42.0</b>	42 <b>32.1</b>	40 <b>30.5</b>	38 29.0	34 26.0	36 27.5	20 15.3	22 16.8	17 13.0	10 7.6	5 3.8	6 4.6	2 1.5	2 1.5							
	40年以上	300 100.0	121 <b>40.3</b>	140 <b>46.7</b>	101 <b>33.7</b>	82 27.3	58 19.3	53 17.7	46 15.3	37 12.3	23 7.7	22 7.3	19 6.3	17 5.7	3 1.0	12 4.0							

### Ⅲ アンケート調査票

#### 地域福祉に関するアンケート調査

町民の皆様には、日頃から町政に関してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

町では「上市町地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

この計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みを、地域における支え合い、助け合いによりつくりあげていこうとする計画です。

この調査は、地域福祉計画に向けた取り組みの1つとして実施するもので、アンケートを通じて「地域福祉」に関する皆様のお考えやご意見をお寄せいただき、地域福祉計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

この調査票は、18歳以上の町民の皆様から、無作為に抽出した方1,500人に送付しており、抽出時点以降に死亡・転出された方についても送付されてしまう場合もありますが、その場合は大変申し訳ございませんが調査票を破棄していただきますようお願いいたします。

なお、調査の実施に際しましては、プライバシーの保護には万全を期しており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理いたします。調査の経過や公表にあたり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。

お忙しいと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月

上市町

#### 【ご記入にあたってのお願い】

- 1 回答は、可能な限り封筒のあて名のご本人がご記入ください。
- 2 質問の中で「現在」と書かれているものは、令和3年9月1日現在の状況でご記入ください。
- 3 回答に選択肢がある場合には、あてはまる番号を○印で囲んでください。  
また、質問の中で「その他」を選んだ方は、その内容を（ ）内に具体的にお書きください。
- 4 質問によって、1つのみ回答するもの、複数回答するもの、又は条件にあてはまらない場合には回答の必要がないものがあります。説明に従ってお答えください。
- 5 答えたくない質問については、お答えいただかなくてもかまいません。
- 6 ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、令和3年10月4日（月）までに、ポストに投函してください。

※ ご記入にあたって、わからないことがありましたら、下記へお問い合わせください。

上市町福祉課社会福祉班

電話：076-472-1111（代表）内線7124

FAX：076-473-2388



## 2 福祉についておたずねします。

問1 あなたは、「福祉」に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

- 1 とても関心がある……問1-1へ進み回答後、問2へ
- 2 やや関心がある……問1-1へ進み回答後、問2へ
- 3 あまり関心がない……問2へ進む
- 4 まったく関心がない……問2へ進む

問1-1 問1で1・2と答えた方におうかがいします。「福祉」のどのような分野に関心がありますか。(○は2つまで)

- 1 子どもに関する福祉
- 2 高齢者に関する福祉
- 3 障害のある人に関する福祉
- 4 生活困窮者に関する福祉
- 5 1～4以外の支援を要する人に関する福祉
- 6 その他 ( )

問2 「福祉」のあり方は、どのようにあるべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 福祉を必要とする人は、家族や親戚が面倒をみればよい
- 2 福祉は、国や市町村といった行政の責任で行うべき
- 3 福祉は、行政と町民が協力しながら、地域で支え合うべき
- 4 その他 ( )

問3 あなたは、「福祉」について理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶこと
- 2 介護体験や介護や支援を必要とする人の疑似体験など、体験学習をすること
- 3 介護や支援を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりすること
- 4 手話や点字、介護方法などの技術を習得すること
- 5 町民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること
- 6 その他 ( )
- 7 特に必要なことはない

**3 地域での生活についておたずねします。**

問4 あなたにとっての「地域」とは、どんな範囲のことだと思いますか。

(○は1つだけ)

- |                |             |        |
|----------------|-------------|--------|
| 1 隣近所          | 2 町内会 (自治会) | 3 小学校区 |
| 4 上市町町内全体      | 5 その他 ( )   |        |
| 6 地域を意識したことがない |             |        |

問5 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のつきあいをされていますか。

(○は1つだけ)

- |   |
|---|
| 1 困っているとき (病気、悩み、事故など) に、相談したり、助け合ったりするなど、親しくおつきあいしているお宅がある |
| 2 たまに立ち話をする程度   |
| 3 会えばあいさつするが、それ以上の話はしない                                     |
| 4 つきあいがほとんどない   |

問6 地域での人と人とのかわりについて、あなたのお考えに近いものをおえらびください。(○は1つだけ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1 心から打ち解け合う関係を築きたい           |
| 2 隣近所の人とはつきあいを大切にしたい         |
| 3 地域をよくする活動をみんなで協力し合って行いたい   |
| 4 他人の協力は期待していない (自分のことは自分です) |
| 5 地域の人や隣近所の人とは関わりを持ちたくない     |
| 6 興味がない                      |
| 7 その他 ( )                    |

**4 地域活動やボランティア活動についておたずねします。**

問7 あなたは現在、町内会 (自治会) や子ども会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動をしていますか。(○は1つだけ)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 現在活動している……問7-1へ進み回答後、問7-2へ       |
| 2 過去に活動したことがあるが、現在は活動していない…問7-2へ進む |
| 3 活動したことがない…問8へ進む                  |

問7-1 問7で1と答えた方におうかがいします。あなたが現在参加している地域活動やボランティア活動はどれですか。(○は3つまで)

- 1 自然・環境保護に関する活動(環境美化、リサイクル活動など)
- 2 ひとり暮らしなどの高齢者の援助
- 3 障害のある人(子ども)の援助
- 4 保育や子育てに関する活動(園児の送迎、放課後児童の見守りなど)
- 5 町内会などの地域活動  
(町内会の役員、防犯や防火活動、お祝いごとや不幸の手伝いなど)
- 6 交通安全に関する活動(子どもの登下校時の安全監視など)
- 7 スポーツ・文化・レクリエーション・生涯学習に関する活動  
(スポーツ・レクリエーション指導、祭りや学校でのクラブ活動指導など)
- 8 自主防災活動や災害援助活動
- 9 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)
- 10 青少年の健全な育成に関する活動(子ども会の世話、ボーイ・ガールスカウト活動など)
- 11 その他( )

問7-2 問7で1・2と答えた方におうかがいします。地域活動やボランティア活動に参加して、よかった点はどのようなことですか。(○は3つまで)

- 1 新しい経験ができた
- 2 人から感謝される幸せを感じた
- 3 やりがいや生きがいを感じた
- 4 人との協調性が身についた
- 5 新しい知識や技術が身についた
- 6 多くの人と知り合いになれた
- 7 社会の役に立てることに喜びを感じた
- 8 地域への愛着が深まった
- 9 視野が広がり、物事の捉え方が変わった
- 10 地域のさまざまな人とのつながりができた
- 11 人に対して思いやりがもてるようになった
- 12 その他( )
- 13 特にない

5 福祉サービスについておたずねします。

問8 あなたは、現在「福祉サービス」に関する情報はどこから入手していますか。(○は3つまで)

- 1 町の広報やホームページ
- 2 町役場の窓口
- 3 町内会(自治会)の役員
- 4 地域の民生委員・児童委員
- 5 ケアマネジャーや福祉サービス事業所
- 6 社会福祉協議会の広報や窓口
- 7 新聞・ラジオ・テレビなどの報道ニュース
- 8 その他( )

問9 あなた自身や家族が、生活上の困りごとを抱えたときや福祉サービスの利用が必要になったとき、どこ（誰）に相談しますか。（○は3つまで）

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 町役場の相談窓口          | 2 社会福祉協議会の相談窓口 |
| 3 地域の民生委員・児童委員      | 4 町内会（自治会）の役員  |
| 5 ケアマネジャーや福祉サービス事業所 | 6 保育所（園）や小中学校  |
| 7 病院施設              | 8 家族や親戚        |
| 9 相談するところがない        | 10 相談しない       |
| 11 その他（             | ）              |

6 成年後見制度についておたずねします。

問10 あなたは、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方に代わって、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人などが財産管理や福祉サービスなどの契約を行う成年後見制度を知っていますか。（○は1つだけ）

- |         |                   |        |
|---------|-------------------|--------|
| 1 知っている | 2 聞いたことはあるがよく知らない | 3 知らない |
|---------|-------------------|--------|

問11 あなたのまわりで、成年後見制度を利用している方はいますか。（○は1つだけ）

- |      |       |         |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問12 あなたは財産の管理や契約などについて、自分ひとりで判断することが難しくなった場合に「成年後見制度」を利用してみたいですか。（○は1つだけ）

- |                          |
|--------------------------|
| 1 はい……………問14へ進む          |
| 2 いいえ……………問13へ進み回答後、問14へ |
| 3 わからない…問14へ進む           |

問13 問12で2と答えた方におうかがいします。その理由をお答えください。（○はいくつでも）

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 制度をよく知らないから      | 2 利用料が心配だから     |
| 3 誰が後見人になるかわからないから | 4 申請手続きが大変そうだから |
| 5 その他（             | ）               |

問14 あなたは将来に向けて心配ごとや困りごとがありますか。（○はいくつでも）

- |                        |             |        |
|------------------------|-------------|--------|
| 1 保証人などが必要な際、頼る親族がないこと |             |        |
| 2 病気や介護のこと             | 3 仕事や経済的なこと |        |
| 4 相続や財産管理のこと           | 5 住むところのこと  |        |
| 6 その他（                 | ）           | 7 特にない |





# 上市町地域福祉計画

発行 令和4年3月

上市町 福祉課

富山県中新川郡上市町法音寺1番地

電話 076-472-1111